

川崎市青少年科学館年報

第 40 号
2021 年度

ANNUAL REPORT OF THE
KAWASAKI MUNICIPAL SCIENCE MUSEUM

No.40
2021-2022

川崎市青少年科学館
(かわさき宙と緑の科学館)

目 次

はじめに	1
第1章 概要	
1 沿革	1
2 施設	2
(1) 施設概要	
① 所在地	
② 敷地面積	
③ 建築	
(2) 各施設	
① 自然学習棟	
② 研究管理棟	
(3) 屋外展示	
3 運営組織及び職員	4
(1) 組織構成	
(2) 職員	
4 川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会	5
(1) 設置根拠	
(2) 活動内容	
第2章 令和3年度事業報告	
新型コロナウイルス感染症拡大防止としての科学館対応	6
開館50周年記念事業	7
1 利用状況	9
2 展示事業	10
(1) 自然	10
① 常設展示	
② リアルタイムな情報発信	
③ 新たな自然史資料による常設展示の更新	
④ 企画展	
(2) 天文	11
① プラネタリウム一般投影	
② プラネタリウム一般団体貸切利用「星空自由空間」	
③ 星空ゆうゆう散歩	
④ ベビー&キッズアワー	
⑤ プラネタリウム学習投影	
⑥ 天文関連展示	
(3) 科学	17
① 常設展示	
3 教育普及事業	17
おうちで楽しむデジタル科学館	
① おうちでまなぼう！生き物クイズ（自然）	
② おうちでプラネタリウム（天文）	
③ おうちでワークショップ（科学）	
(1) 自然	18
① 生田緑地観察会（委託）	
② サイエンス教室（自然）	

③ 自然講演会「科学館・宙と緑の寄席 ～タヌキと自然と人と～」	
④ 出前教室	
⑤ 地層観察	
⑥ 林の観察	
⑦ 総合的な学習の時間における学習支援	
(2) 天文	2 1
① 星を見る夕べ	
② 出前教室	
- 1 かわさき星空ウォッチング	
- 2 出前天文教室	
③ 天文サポーター定例会	
④ サイエンス教室 (天文)	
⑤ プラネタリウムでのイベント	
⑥ 天文講演会	
⑦ アストロテラス公開	
⑧ プラネタリウムワークショップ	
⑨ 市民プラネタリウム発表会	
(3) 科学	2 5
① サイエンス教室 (科学)	
② サイエンスワークショップ	
- 1 サイエンスワークショップ	
- 2 サイエンスショー	
③ 子ども創意くふう教室	
④ 出前科学実験教室	
⑤ かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」	
⑥ 科学サポーター研修会	
⑦ 出前教室	
⑧ ゆうゆう広場科学実験教室	
⑨ 「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用	
(4) 出版事業	3 0
川崎市青少年科学館紀要 第 32 号	
① 報告・記録	
② 寄稿	
(5) その他	3 1
新聞記事を含む普及的著作	
4 調査研究事業	3 1
(1) 学芸員・職員等による調査研究	3 1
① ムネアカハラビロカマキリ調査	
② 川崎市域の星の見え方調査	
③ 天体の観測	
④ 気象観測	
⑤ ワクワクドキドキ玉手箱の改良・新規開発	
⑥ 地層学習キットの開発・検証	
(2) 外部研究者の受入	3 2
(3) 生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖研究 (委託)	3 2
(4) 市域の生物調査および自然史資料 (標本) 収集・作製 (委託)	3 2

5	資料収集・保管事業	33
(1)	自然関係収蔵資料の分類・整理（台帳化）	33
①	収蔵標本（自然史資料）の整理および配架状況	
②	分類群ごとの標本作製	
(2)	G B I F 等国内外機関への自然史資料情報の提供	33
(3)	収蔵庫研究利用実績	33
(4)	プラネタリウム番組アーカイブ化	33
(5)	太陽表面観測データ整理	33
(6)	寄贈資料整理（天文）	34
(7)	所蔵図書および文献資料の整理	34
(8)	資料燻蒸	34
(9)	科学実験データ共有化	34
(10)	開発実験器具等の保管	34
(11)	科学館収蔵資料の貸与	34
6	ネットワーク事業	34
(1)	展示・企画	34
①	「pchiboで競走しよう」（共催事業）	
②	「かながわりレー科学教室」（共催事業）	
③	F I E L D M U S E U M : 親子で楽しく学べるカガクおもちゃ（共催事業）	
④	川崎市臨海部企画展示「なるほど！ザ・川崎臨海部」	
(2)	調査研究・収集保存	35
①	川崎市内の生物調査	
(3)	学習支援	35
①	職場体験・職業インタビュー	
②	中学校連合文化祭開催への協力	
③	教員研修会	
④	教職員社会体験研修	
⑤	学芸員実習	
⑥	川崎市小学校理科優秀作品展	
⑦	川崎市中学校理科優秀作品展	
(4)	地域振興・生田緑地内	37
①	川崎市立多摩図書館との連携事業「物語でめぐる星の世界 その6」	
②	多摩区民祭	
③	生田緑地スプリングミュージアム	
④	日本民家園との連携事業「七夕体験」「お月見デー」の実施	
(5)	生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上	38
①	夏休み生田緑地クイズラリー	
②	生田緑地関係者による連携・協力	
(6)	博物館連携	38
7	広報活動	38
(1)	ホームページアクセス数等	38
(2)	外部メディアにおける情報提供数	38
8	他施設交流	38
第3章 資料		
1	刊行物	39
2	利用案内	39

はじめに

川崎市青少年科学館は、生田緑地（179.3ha）に立地する、市内唯一の自然科学系の登録博物館である。

平成 24 年 4 月 28 日に通称「かわさき^{そら}宙と緑の科学館」としてリニューアルオープンし、最新鋭のプラネタリウム設備および一新された展示設備等を備えた自然学習棟、調査研究や資料収集等の設備を備えた研究管理棟から成っている。

館では、これらの設備や周囲の自然環境などを活用しながら、自然、天文、科学の各分野において、教育普及、調査研究、資料の収集保存等に取り組んでいる。



第 1 章 概要

1 沿革

年月日		沿革
昭和 44 (1969) 年	10月	(仮称) こども科学館構想
46 (1971) 年	8月15日	プラネタリウム館開館
	11月21日	D51 型蒸気機関車引渡式
47 (1972) 年	7月 1日	川崎市青少年科学館協議会設置
	7月21日	全国科学博物館協会・日本博物館協会・日本天文学会加入
48 (1973) 年	6月15日	神奈川県博物館協会加入
49 (1974) 年	4月27日	日本プラネタリウム協会加入
	7月 3日	青少年科学館本館基本構想答申
55 (1980) 年	2月	プラネタリウム機種更新 (GMII-16-T)
57 (1982) 年	2月27日	青少年科学館本館開館 天体観測室設置
	5月28日	博物館登録
58 (1983) 年	3月20日	青少年科学館本館展示室開館
	4月 1日	第 1 次川崎市自然調査開始
63 (1988) 年	4月 1日	第 2 次川崎市自然調査開始
平成 3 (1991) 年	4月 1日	第 3 次川崎市自然調査開始
5 (1993) 年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市市民ミュージアムに委託 (平成 11 年 4 月から(財)川崎市博物館振興財団に名称変更、 平成 17 年 4 月から(財)川崎市生涯学習財団に統合)
7 (1995) 年	4月 1日	第 4 次川崎市自然調査開始
10 (1998) 年	3月31日	青少年科学館基本構想策定
11 (1999) 年	4月 1日	第 5 次川崎市自然調査開始
15 (2003) 年	4月 1日	第 6 次川崎市自然調査開始
	11月 1日	メガスターⅡ公開 (平成 16 年 4 月 1 日から通年公開)
17 (2005) 年	3月31日	生田緑地整備基本計画策定 (環境局)
18 (2006) 年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市生涯学習財団から直営に移行
19 (2007) 年	4月 1日	第 7 次川崎市自然調査開始
20 (2008) 年	11月	青少年科学館改築基本計画策定
21 (2009) 年	3月	青少年科学館改築基本設計
22 (2010) 年	3月	青少年科学館改築実施設計
	8月	改築工事開始
23 (2011) 年	10月 1日	改築工事に伴い休館 (平成 24 年 4 月 27 日まで)
24 (2012) 年	1月	市民公募により決定した通称「かわさき宙(そら)と緑の科学館」、愛称「サイエンスプリン」、マスコットキャラクター「かわさきぷりん」の使用開始
	3月	青少年科学館運営基本計画策定、改築工事終了
	4月28日	リニューアルオープン、MEGASTAR-III FUSION 公開
25 (2013) 年	4月	指定管理者制度導入 (学芸部門は直営) 移動天文車「アストロカー」導入 (出前天文観測教室に利用)
30 (2018) 年	4月	指定管理者制度導入 第 2 期開始
令和 3 (2021) 年	8月	開館 50 周年

2 施設

(1) 施設概要

① 所在地

川崎市多摩区柘形 7 丁目 1 番地 2

② 敷地面積

3854.40 m²

③ 建築

自然学習棟

建築年月日 平成 24 年 3 月 22 日

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造 3 階建て

建築面積 1528.52 m²

研究管理棟

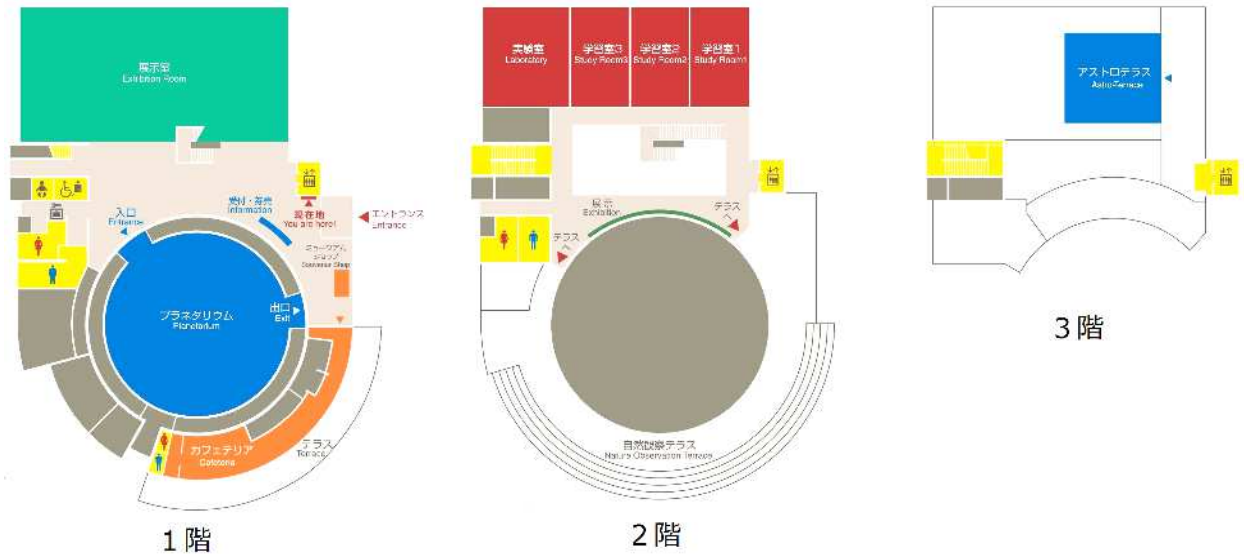
建築年月日 昭和 57 年 2 月 27 日(平成 24 年 3 月 30 日改修)

建築構造 鉄筋コンクリート造 2 階建て

建築面積 617.43 m²

(2) 各施設

① 自然学習棟

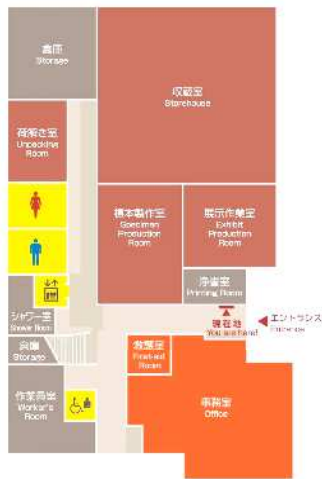


自然学習棟各室別面積

展示室	川崎の自然・生物等に関する展示物を設置している。
プラネタリウム	最新鋭の投影システム「MEGAS TAR-III FUSION」により、精緻な星空投影を実施している。
学習室	学習会、講演会、企画展示等を行うための設備を備えている。
実験室	基礎から応用まで様々な科学実験を可能とする設備を備えている。

自然学習棟 (延床面積 2149.29 m ²)			
1 階	1512.80 m ²	2 階	574.15 m ²
展示室	379.89 m ²	学習室 1	64.08 m ²
プラネタリウム	388.62 m ²	学習室 2	62.01 m ²
ホール	248.61 m ²	学習室 3	62.01 m ²
カフェテリア	114.74 m ²	実験室	92.93 m ²
その他	380.94 m ²	その他	293.12 m ²
		3 階	62.34 m ²

② 研究管理棟



1階



2階

研究管理棟各室別面積

- 標本製作室 標本整理のための作業台及び標本作成のための設備を備えている。
- 展示製作室 展示資料の更新作業等を行うための設備を備えている。
- 収蔵庫 生田緑地内および川崎市域等で収集された標本類を適切に保存するための設備を備えている。
- 調査研究室 職員、市民団体が自然に関する調査研究を行うための設備を備えている。
- 天体観測室 40 cm反射望遠鏡、天体撮影装置等、天文の調査研究を行うための設備を備えている。

研究管理棟 (延床面積 929.00 m ²)			
1階	542.96 m ²	2階	366.72 m ²
事務室	89.66 m ²	調査研究室	104.10 m ²
標本製作室	46.40 m ²	天体観測室	41.26 m ²
展示製作室	34.97 m ²	図書資料室	83.76 m ²
収蔵庫	144.00 m ²	その他	137.60 m ²
その他	227.93 m ²	屋上	19.32 m ²
渡り廊下 (研究管理棟～自然学習棟)			38.36 m ²

(3) 屋外展示

IDI 過熱テンダー機関車 (D51 408号機)

昭和 15 年 4 月 12 日、日本車輛製造株式会社で製造され、北陸線・山陽線・山手線などで主に貨物輸送に活躍した。

昭和 45 年 11 月、新鶴見機関区で廃車となり、昭和 46 年 10 月、青少年科学館に生きた教材 (愛称: でこちゃん号) として展示されることになった。国鉄大宮工場で解体され、30 t 積みトレーラー 3 台、8 t 積みトラック 4 台に分けて運搬され、組立の上設置された。

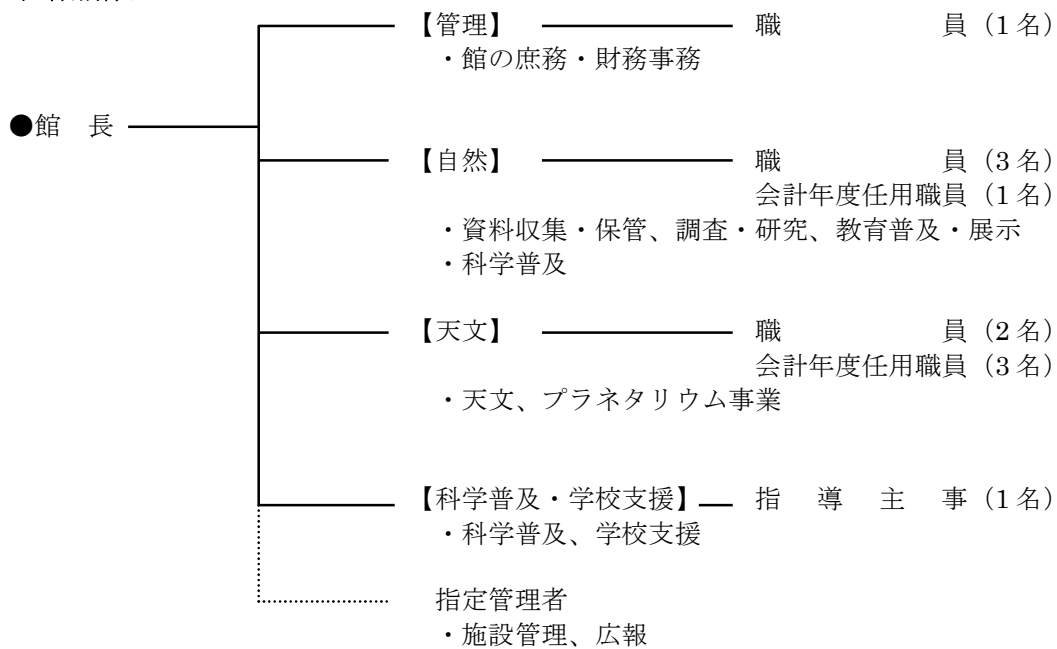
平成 23 年 3 月、アスベスト対策工事実施。

(最大 1,200 馬力、全長 19.5 m、高さ 3.9 m、幅 2.8 m、機関車空車 70 t、炭水車空車 19 t)



3 運営組織及び職員

(1) 組織構成



(2) 職員

(令和3年4月1日現在)

	氏名	職名	担当
館長	藤田 智也	館長（事務職員）	館総括
管理	川上 克哉	担当係長（事務職員）	管理、庶務
自然	高中 健一郎 本郷 智子 高橋 裕 津田 由美子	担当係長（技術職員・学芸員） 主任（事務職員） 主任（事務職員・再任担） 会計年度任用職員	自然科学班総括
天文	弘田 澄人 内藤 武 石阪 あすみ 田中 里佳 村上 ひろ子 三浦 飛未来	担当係長（技術職員・学芸員） 任期付職員（技術職員・学芸員） 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員	天文班総括 ～R4.1.31 R4.2.1～
科学普及・学校支援	杉浦 孝弘	指導主事	

※指定管理者除く

4 川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会（旧称：川崎市青少年科学館協議会）

（1）設置根拠

青少年科学館の円滑な運営を図るため設置されている川崎市青少年科学館協議会は、川崎市の全庁的な附属機関の見直しに伴い、平成 28 年度より川崎市社会教育委員会議の「専門部会」に位置付けられた。委員定数は 10 名以内。市内の学校教育職員、社会教育関係者、学識経験者及び公募市民の合計 10 名で構成されており、令和 3 年度は次のとおり協議を行った。

（根拠法令）

- ・川崎市社会教育委員条例第 3 条
- ・川崎市社会教育委員会委員会規則第 6 条

青少年科学館専門部会委員名簿（任期：令和 2 年 5 月 1 日～令和 4 年 4 月 30 日） ◎部会長 ○副部会長

氏名	役職名	氏名	役職名
網屋 直昭	中学校教育研究会理科部会 副部会長（南生田中学校 校長）	常喜 豊	昭和女子大学 人間社会科学部 特任教授 （動物生態学）
白石久美子	小学校理科教育研究会 会長（富士見台小学校 校長）	田中 徳久	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 （植物生態学）
川島 逸郎	日本トンボ学会 編集委員 （昆虫学）	山岡 均	国立天文台天文情報センター 広報室長／准教授（天文学）
島田 秀雄○	公募市民	眞壁 総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず 理事長（家庭教育）
服部 公俊◎	公募市民	栗芝 正臣	専修大学 ネットワーク情報学部 准教授 （デザイン学）

（2）活動内容

開催日	会場	主な内容
令和 3 年 7 月 2 日（金）	自然学習棟学習室	令和 3 年度事業計画、運営基本計画
11 月 10 日（水）	自然学習棟学習室	令和 3 年度事業計画中間報告、館内視察
12 月 2 日（木）～ 16 日（木）	科学館内外	各委員による個別の事業視察
令和 4 年 3 月 25 日（金）	オンライン開催	令和 3 年度事業評価 （新型コロナウイルス感染拡大に伴うオンライン開催）



第2章 令和3年度事業報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止としての科学館対応

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年度より事業の休止、開催回数・定員の減、徹底した感染防止対策を実施してきた。令和3年度は3密回避の感染防止対策を徹底した上で、開館業務並びに各種事業等の博物館活動を行った。

日にち	館の対応	対応内容
令和3年 1月9日～	プラネタリウム定員減の 継続（100人）	イベント開催ガイドライン内の定員 50%を踏まえ、座席定員を通常 200 人から 100 人に変更。土日祝日の投影 4 回は継続。
令和2年度 から 継続実施	入館者への協力依頼	科学館入口にて検温を行い、手指消毒とマスク着用のお願いの呼びかけを実施。
	展示室「触れる展示」の 一部休止	生田緑地ギャラリーの休止している標本引出展示に、クイズ形式の写真パネルを設置するなど、ハンズオン展示を触れずに楽しめる工夫を行い、実施。
	教育普及イベントの 限定開催	3密回避として、会場内の換気徹底、参加者同士の距離確保、密を伴わない定員設定を行い、サイエンス教室、サイエンスワークショップ等の自然・天文・科学分野の教育普及イベントを開催。
	アストロテラス開放 夜間天体観測会の再開	アストロテラスは平日のみ開放、夜間天体観測会「星を見る夕べ」はこれまでの自由参加方式から事前予約制定員 50 名に変更して再開。望遠鏡は接触防止キャップを使用。
	「おうちで楽しむ デジタル科学館」HP掲載	臨時休館、外出自粛継続中に家庭で館の魅力に触れてもらえるよう、館HPに自然、天文、科学の各分野の取組を紹介。
	自然学習棟 2 階の 自然観察テラス休止	利用者の長時間滞在及び飲食を未然に防ぐため、自然学習棟 2 階の自然観察テラスの利用を休止。
4月29日～	フュージョン投影の再開	定員を 70 名とし、新番組「過去と未来の旅」から投影を再開。新番組の利用ニーズをふまえ、水曜日、第一木曜、土日祝日にフュージョン投影を設定。
5月20日～	星空ゆうゆう散歩の再開	令和2年度は休止していた「星空ゆうゆう散歩」を定員 100 名にて再開。
8月27日～	プラネタリウム学習投影 受入定員の見直し	1 投影につき 1 団体限定、上限 100 名での投影実施を学校側と確認。当日の登校時の検温、入館前の手指消毒等の感染防止対策を学校団体と協力の上で実施。
12月12日～	生田緑地観察会の再開	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、委託先である「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」と協議し、12 月から事前申込制にて、定員数を設定して再開。

開館 50 周年記念事業

昭和 46(1971)年 8 月 15 日、県内 2 番目のプラネタリウム施設として開館し、昭和 57(1982)年 2 月 27 日に本館が開館し、同年 5 月に市内唯一の自然科学系の登録博物館となった。平成 24(2012)年 4 月 28 日に、通称「かわさき宙と緑の科学館」としてリニューアルオープンした。

50 年の節目を迎えた川崎市青少年科学館は、令和 3 (2021) 年度を開館 50 周年記念イヤーと位置づけ、子どもたちから成人・シニア世代までそれぞれのニーズに応える記念事業を実施した。

1 50周年記念事業

①プラネタリウム・フュージョン新番組「過去と未来への旅」

令和 3(2021)年 4 月 29 日から一般公開

50 周年の節目に、「MEGASTARIII FUSION」の制作会社・大平技研と映画監督・上坂浩光氏（はやぶさに関わる映像作品制作）に委託し、制作したフュージョン新番組「過去と未来への旅」は令和 3 (2021) 年 4 月 29 日から公開された。感染防止対策として、コロナ前の 132 席から、利用者の間隔を担保した 70 席にて公開し、以前は月に 2 回公開していたフュージョン番組を毎週土日祝日に 1 回と回数を増やして投影スケジュールを編成した。



②記念写真展 **開催期間:令和 3(2021)年 6 月 19 日～8 月 29 日**

科学館の開館当時から今日までのあゆみに関する写真展を開催した。プラネタリウムドーム壁面で写真パネルを掲示した。50 周年記念式典の前後であり、年間で来館者が最も多い学校の夏季休業期間である 6～8 月に開催した。



③開館 50 周年記念式典 **開催日:令和 3(2021)年 7 月 17 日 参加人数 58 名**

開館以来、科学館運営にご尽力いただいた来賓、地域、市民団体、学校関係者の方々に招待して、これまでの歩みを振り返り、科学館の魅力を多くの市民に発信するため記念式典を開催した。

記念式典は、市長をはじめとする主催者と来賓の挨拶や紹介等のセレモニーとしての第 1 部、会場を科学館の学習室からプラネタリウムドームに移し、式典当日から公開した 50 周年記念番組「かわさきの星空 50 年」と、フュージョン新番組「過去と未来への旅」を投影した第 2 部の 2 部構成にて実施した。



④プラネタリウム 50 周年記念番組「かわさきの星空 50 年」

公開期間:令和 3(2021)年 7 月 17 日～8 月 29 日

川崎市と科学館の 50 年のあゆみを当時の天文現象や天文学の発展を織り交ぜながら紹介する記念番組を制作し、記念式典開催日午後から一般公開を開始した。記念式典での投影を皮切りに、多くの市民が利用する夏季休業期間を中心に公開した。



⑤記念企画展「川崎の生きもの」

開催期間:令和 3(2021)年 7 月 27 日～8 月 22 日 5,215 名見学

科学館と「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」の協働調査で確認された動植物を紹介する『川崎の生きもの』を発刊に伴い、学習室を会場に企画展を開催した。市域で確認された動植物や絶滅危惧の生物についてパネルや標本を展示し紹介した。

⑥記念科学講演会「素数ゼミの謎を科学する」

開催日:令和 3(2021)年 11 月 3 日 41 名参加(対象・中学生以上)

自然科学の魅力の発信をねらい、川崎市在住の静岡大学名誉教授・吉村仁氏による「周期ごとに発生するゼミ(素数ゼミ)の謎」をテーマとした数理生態学についての記念講演を行った。



⑦「科学であそぼう!かわさきぷりんフェスティバル」

開催日:令和 3(2021)年 11 月 28 日 174 名参加(対象・小学生親子)

科学館利用の主層である小学生と、事業やイベントを支えている市民ボランティアとの交流をねらい、小学生対象のサイエンスフェスティバルを開催した。科学館2階学習室を会場に、30分単位でのワークショップを整理券入替方式にて実施した。



⑧記念プラネタリウムコンサート

開催日:令和 3(2021)年 12 月 11 日 83 名参加

プラネタリウムドームの設備・環境を利用した人気のイベントとして、東京交響楽団とコラボレーションしたプラネタリウムコンサートを開催した。

⑨記念対談

開催日:令和 4(2022)年 2 月 6 日 40 名参加

科学館ゆかりの方々として、元館長で市民文化賞受賞の若宮崇令氏、「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」事務局長の岩田芳美氏を招き、川崎の自然や市民協働について対談を開催した。



2 記念誌等の制作・販売

50周年を記念した刊行物の制作・販売を行った。

- ・記念誌『川崎市青少年科学館開館50年のあゆみ』(写真左)
- ・刊行物『川崎の生きもの』(写真右)
- ・50周年記念グッズ「クリアファイル」「オリジナル巾着袋」



3 50周年記念広報刊行物

- ・50周年記念街路灯フラッグの掲示(向ヶ丘遊園駅~生田緑地まで他)
- ・多摩区観光ガイドブック『はなもす』青少年科学館50周年特集の発行(3万部)
- ・科学館だより50周年記念号の発行(2万部)
- ・市政だより7月1日号にて科学館特集掲載

1 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入館者数		15,904	26,240	19,505	23,545	23,469	18,654	22,938	24,462	17,981	23,489	16,485	20,505	253,177	
入館者数のうち	プラネタリウム 観覧者数	1,648	6,254	6,601	7,454	7,471	4,686	7,361	6,437	5,746	4,724	4,299	5,736	68,417	
	プラネタリウム 観覧者数内訳	学習投影	0	783	2,533	1,661	30	242	2,163	1,866	2,004	692	306	759	13,039
		一般投影	1,648	5,471	4,068	5,793	7,441	4,444	5,004	4,571	3,614	4,032	3,993	4,888	54,967
	一般投影 観覧者数内訳	一般	875	3,369	2,441	3,160	3,725	2,577	2,900	2,692	2,104	2,311	2,318	2,569	31,041
		高校・ 大学生	58	174	168	173	279	175	146	114	126	117	182	250	1,962
		65歳以 上	103	299	322	245	287	307	413	397	317	269	262	429	3,650
		中学生 以下	612	1,629	1,137	2,215	3,150	1,385	1,545	1,368	1,067	1,335	1,231	1,640	18,314
	特別投影	0	0	0	0	0	0	194	0	128	0	0	89	411	
	講座等参加者数	354	470	232	313	337	271	891	379	513	610	400	359	5,129	
アストロテラス公開時入場者数	610	137	377	93	124	263	579	524	637	743	895	734	5,716		
館外活動参加者数	0	227	281	547	28	69	727	787	1,351	252	623	116	5,008		
利用者数合計	15,904	26,467	19,786	24,092	23,497	18,723	23,665	25,249	19,332	23,741	17,108	20,621	258,185		
開館日数	26	25	26	27	25	25	27	25	24	24	23	27	304		
1日平均利用者数	612	1,059	761	892	940	749	876	1,010	806	989	744	764	849		

※プラネタリウム 4/6～28 まで休止、再開後全期間定員減。

年度別利用者の推移

年度	入館者数	入館者数のうち			館外活動 参加者	利用者総数
		プラネタリウム	アストロテラス	講座等参加者		
平成24年度	367,238	148,693	51,171	16,197	18,630	385,868
25年度	301,399	125,739	29,338	12,904	16,296	317,695
26年度	292,238	115,819	24,659	14,548	17,025	309,263
27年度	293,333	110,824	21,198	11,474	14,526	307,859
28年度	283,423	104,187	21,147	11,115	12,486	295,909
29年度	288,130	106,456	20,179	11,867	13,140	301,270
30年度	271,761	108,205	16,766	15,115	13,562	285,323
令和元年度	251,346	95,072	13,903	10,089	10,677	262,023
令和2年度	178,245	44,923	3,151	3,783	5,109	183,354
令和3年度	253,177	68,417	5,716	5,129	5,008	258,185

※平成24年度リニューアルオープン

2 展示事業

(1) 自然

① 常設展示

川崎の自然を1階展示室で「川崎の大地」「丘陵の自然」「街の自然」「多摩川の自然」「生田緑地ギャラリー」と5つのコーナーに分けて紹介した。(新型コロナウイルス感染防止のため、2月末より「触れる」展示を休止)

「川崎の大地」…生田緑地約100万年の歴史を約5分の1に縮小した8mの「地層タワー」で再現。有孔虫化石の顕微鏡観察。川崎市内で発掘されたアケボノゾウ (*Stegodon aurorae*) の臼歯化石(市重要天然記念物「カントウゾウ (*Parastegodon kwantoensis*)」基準(ホロタイプ)標本として・昭和48年3月14日指定)や、飯室層(上総層群)から産出する代表的な化石の展示。

「丘陵の自然」…川崎の丘陵地で見られるさまざまな動植物を、季節ごとに分類して展示。谷戸に生息する生物についてジオラマで生態を解説しているほか、里山で見られる代表的な生物を、柱状展示等で見せている。壁面には、里山の「生態系」をイメージした展示。

「街の自然」…川崎で暮らしているハクビシンやアライグマの剥製標本展示のほか、都会に適応した生物の代表として、ハシブトガラスやセイヨウタンポポなどを生態展示で見せている。都会で見られるセミ類や鳥類などは、音声を活用した展示を行っている。

「多摩川の自然」…多摩川138kmの始まりから終わりまでを、立体地図と断面図で展示。多摩川の上流から下流、河口までの生き物(水生生物や鳥類など)や石の状態、河口干潟などを展示。

「生田緑地ギャラリー」…生田緑地に生息する生き物たちを、標本や写真・レプリカで紹介。引出し展示を多用し、生物から地層の剥ぎ取りに至るまで、幅広く実物(標本)を展示している。生田緑地ギャラリー横の壁面に「生田緑地の四季だより」コーナーを新設。



② リアルタイムな情報発信

生田緑地の自然について、日常的に観察・撮影した写真等のリアルタイムな情報発信(受付横「緑地案内ボード(緑地マップ)」を活用)を定期的実施し、2週に1回の頻度で更新した。また、SNSを33回更新し、自然情報を紹介した。

③ 新たな自然史資料による常設展示の更新

生田緑地の動植物を季節ごとに展示する「生田緑地の四季だより」の写真をキャプションとともに2回更新し、計16点を展示した。また、新たな展示として、自然分野サイエンスワークショップの題材等をピックアップコーナーにて展示し、適宜更新した。



④ 企画展

「川崎の生きもの」

川崎市青少年科学館開館 50 周年を契機に制作された「川崎の生きもの」の刊行を記念して、「川崎の生きもの」に掲載されている川崎の自然環境、川崎に生息している生きものを解説パネルや写真、標本を活用して来館者に紹介した。

開催期間：2020 年 7 月 27 日（火）～8 月 22 日（日） 延べ観覧者数 5,215 人

会場：学習室

観覧料：無料

協力：特定非営利活動法人かわさき自然調査団

担当：高中健一郎、本郷智子

（2）天文

① プラネタリウム一般投影

市民への天文知識普及を目的とし、定期的に新番組制作の上、その時季に見られる天文現象なども交えながら、解説員のマニュアル操作・生解説によるきめ細かい投影を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として定員を削減し身体的距離を確保するとともに、換気、座席の消毒作業のため投影回数を削減して実施した。

一般向け投影（平日 15:00～、土日祝日 12:00～、15:00～）

	投影話題	内容
4・5 月	ブラックホール此処に在り	ブラックホールの性質やその観測についてを解説する。
6 月～ 7 月 16 日	太陽系ちっちゃいものクラブ	準惑星や小惑星など、太陽系の小天体に焦点を当て、それらの特徴などを解説する。
7 月 17 日 ～8 月	かわさきの星空 50 年	科学館開館の 1971 年から 50 年間のおもな天文現象を川崎市の発展とともに紹介する。
9 月	銀河鉄道 星めぐり	北十字から南十字まで、天の川に沿って旅をし、周辺に見られる天体を紹介する。
10 月	太陽系の航海者	ボイジャーなど惑星探査機の足跡をたどり、木星、土星とその衛星の素顔を紹介する。
11 月	地球と月のビミョウな関係	日食や月食など月によっておこる天文現象や月の誕生などについて解説する。
12 月	ALMA 望遠鏡で挑む宇宙のナゾ	南米に建設された ALMA 望遠鏡の特徴や観測の成果について解説する。
1 月	すばると星の一生	すばるなど散開星団の特徴と、冬に見える天体から恒星の進化について解説する。
2 月～ 3 月 18 日	オーロラのふるさと	太陽活動とオーロラの仕組みについて解説し、オーロラの全天映像を紹介する。
3 月 19 日 ～4 月	大人の学習投影	星の明るさと色、星や月の動きなど、小中学校の学習投影を一般向けに体験してもらう。

フュージョン投影「過去と未来への旅」

（土日祝日 10:30、水曜日・第 1 木曜日 13:30 一般投影にて投影）



子ども向け投影（土日祝日 13:30）

	投影話題
4月～ 7月12日	南半球へ行こう
7月18日～ 8月	ドーナツ星雲をつくろう！？／夏の星空さんぽ
9月～10月	流れ星み～つけた！
11月～12月	ほうき星とたいようけいたんけん
1月～2月	ももんがさんとおほしさまじゅーす
3月	おたんじょうびの星座たち

② プラネタリウム一般団体貸切利用「星空自由空間」

世界最高水準のプラネタリウム機「メガスターⅢフュージョン」の更なる活用を図り、プラネタリウムの魅力を発信するため、プラネタリウムを団体で貸切り、投影を楽しむことができる「星空自由空間」を実施した。

リクエストに応じた投影、全天周プロジェクターによる持込み映像上映等のほか、障がい者、福祉施設などで他の来館者に気兼ねなく利用してもらうなど、幅広い活用を想定している。

引き続き関係方面への周知を行い、利用を増やし検証を行う。

■利用方法等	
対象団体	原則として20人以上の団体（例：福祉施設、企業、生涯学習団体等）
利用日時	平日（火～金）の10:00～14:30 （ただし、学習投影実施時間帯、休館日等を除く。）
予約方法	利用希望日の3か月前から1か月前まで電話又は来館にて受付
投影内容	利用団体の希望、リクエストに基づき、事前に当館と打合せ・調整
利用料 （観覧料）	45分間毎に1人600円、中学生以下無料 例：10:00～11:20（80分利用）の場合 ⇒ 一般1,200円/人 別途、障がい者、高齢者等の利用については利用料を減免
利用事例	10月8日（金）12:15～14:30 担当：内藤 ぼらぼら。ワンマンLive Heavenly Star 参加者38人 3月23日（水）11:15～12:00 担当：田中 子育てサークルさくらんぼ（ベビー&キッズ投影）参加者55人

③ 星空ゆうゆう散歩

元科学館職員の國司眞氏を講師に迎えたシニア向け投影を下記の通り実施した。

対象 中学生以上観覧可能（8月を除く毎月第3木曜日 13:30～ 定員：200名）

講師 國司眞氏

開催日	投影話題	内容	参加人数
5月20日（木）	月の満ち欠け	月の形と模様、皆既月食	56
6月17日（木）	夜空の星時計	時の記念日と時間の測り方	77
7月15日（木）	お盆と七夕まつり	各地の七夕祭りとお盆の行事	74
9月16日（木）	アンドロメダ銀河の発見	アンドロメダ銀河の距離や正体	94
10月21日（木）	いちばん星 見つけた	いちばん星の金星	100
11月18日（木）	流れ星 いろいろ	しし座流星雨や流星群	100
12月16日（木）	クリスマスの星空	ベツレヘムの星、クリスマスの星空	100
1月20日（木）	ほしはすばる	すばるの和名、見え方	92
2月17日（木）	M78星雲とM87銀河	M78星雲、M87銀河のブラックホール	100
3月17日（木）	憧れの南十字星	南十字星を中心とした南天の星座	100

④ ベビー&キッズアワー

未就園児とその保護者がともに楽しめる投影を計画したが、新型コロナウイルス感染症予防のため今年度は中止した。(第1木曜日, 第3水曜日開催 1日2回投影: 10:30～、11:30～)

⑤ プラネタリウム学習投影

小学校、中学校、高等学校を対象に学習指導要領に準拠した投影を、また、幼稚園、保育園を対象に「子ども向け投影」を行った。(4月を除く平日3回10:00～、11:15～、13:00～)

学習投影内容

対象	投影内容
小学校1・2年生	季節ごとの星空物語
小学校3年生	星空と月の世界
小学校4年生	月の満ち欠け 星の動きや明るさ
小学校5年生	四季の星座
小学校6年生	太陽や月の表面 太陽の位置と月の形
中学生	地球の自転と公転 太陽系と恒星
高校生	惑星視運動 歳差

幼稚園・ 保育園児	5月	南半球へ行こう
	6月～7月	たなばたものがたり
	8月～10月	うさぎとロバの月りょこう
	11月～12月	うまれたときの光
	1月～2月	ももんがさんとおほしさまじゅーす
	3月	おたんじょうびの星座

学習投影利用団体数

	団体数	利用者数
4月	実施なし	
5月	9	783
6月	34	2,533
7月	22	1,661
8月	1	30
9月	3	242
10月	30	2,163
11月	27	1,866
12月	30	2,004
1月	12	692
2月	6	313
3月	14	788
合計	188	13,075

学習投影実施状況

月	開始日	学校・団体名	学年
5月	14日(金)	宿河原幼稚園	
		女子学院高等学校	2
	18日(火)	横浜市立つつじが丘小学校	3
	25日(火)	そらまめ保育園	
		玉川幼稚園	
	26日(水)	川崎めぐみ幼稚園	
	27日(木)	富士見幼稚園	
横浜市立あざみ野第一小学校		4	
28日(金)	川崎めぐみ幼稚園		
6月	1日(火)	南いくた保育園	
		西三田幼稚園	
		横浜市立美しが丘西小学校	4
	2日(水)	白鳥保育園	
		健爽学園ゆりかご幼稚園	
	4日(金)	川崎市立片平小学校	4
		たちばな幼稚園	
	8日(火)	神奈川県立高津養護学校	1
		丸山幼稚園	
	9日(水)	川崎市立末長小学校	4
健爽学園ゆりかご幼稚園			
10日(木)	川崎市立末長小学校	4	
	桐光学園みどり幼稚園		
	川崎市立平小学校	4	

	11日(金)	洗足学園大学付属幼稚園	
		有馬白百合幼稚園	
		川崎市立夢見ヶ崎小学校	3
	15日(火)	神奈川県立高津養護学校 中学部	2
		学校法人田園学園川崎たまがわ幼稚園	
		杉並区立杉並第十小学校	1
	22日(火)	川崎市立菅小学校	4
		学校法人田園学園川崎たまがわ幼稚園	
		川崎市立菅小学校	4
	23日(水)	中央支援学校稲田分教室	
		横浜教育支援センター ハートフルルームつづきの丘	
	24日(木)	野川ほのぼの保育園	
		宮崎台幼稚園	
		矢の口幼稚園	
25日(金)	宮崎二葉幼稚園		
	川崎市立南菅小学校	4	
29日(火)	川崎青葉幼稚園		
	横浜市立左近山小学校	4	
30日(水)	中央支援学校稲田分教室		
	川崎若葉幼稚園		
7月	2日(金)	川崎市立柿生小学校	4
		こうりんじ幼稚園	
		川崎市立柿生小学校	4
	6日(火)	マリア・モンテッソーリ・エレメンタリースクール	
		ちよがおか幼稚園	
		川崎市立千代ヶ丘小学校	4
	7日(水)	うさぎ幼児園	
		狛江みずほ幼稚園	
	8日(木)	川崎市立中野島小学校	4
		川崎青葉幼稚園	
		小野路保育園	
	9日(金)	元住吉おおぞら保育園	
		津田山幼稚園	
		川崎市立鷺沼小学校	4
	13日(火)	川崎市立宮崎小学校	4
		川崎市立宮崎小学校	4
		川崎市立宮崎小学校	4
	14日(水)	川崎市立坂戸小学校	4
		津田山幼稚園	
15日(木)	川崎市立旭町小学校	4	
20日(火)	スカイクレストインターナショナルスクール(保育園)		
	くりの実保育園		
8月	27日(金)	鷗友学園女子 理科班(中高)	
9月	14日(火)	川崎市立三田小学校	4
	28日(火)	杉並区立高井戸小学校	2
		杉並区立高井戸小学校	2
10月	1日(金)	太陽第一幼稚園	
		川崎市立浅田小学校	4
	5日(火)	川崎市立東高津小学校	4
		川崎市立東高津小学校	4
		川崎市立東高津小学校	4
	6日(水)	宿河原幼稚園	
		虹のひかり保育園	
13日(水)	座間市立相模が丘小学校	4	
	西有馬おひさま保育園		

	14日(木)	川崎市立高津小学校	4
		川崎市立西丸子小学校	4
		川崎市立高津小学校	4
	15日(金)	川崎市立夢見ヶ崎小学校	4
		川崎市立東菅小学校	4
		川崎市立夢見ヶ崎小学校	4
	19日(火)	ういず向ヶ丘遊園保育園	
		川崎市立東高津小学校	6
		川崎市立川崎小学校	4
	26日(火)	川崎市立百合丘小学校	4
		川崎さくら幼稚園	
		川崎市立下布田小学校	6
	27日(水)	川崎市立下平間小学校	4
		中央支援学校 中学部	2
		中学校連合文化祭	
28日(木)	川崎市立田島小学校	4	
	津田山幼稚園		
	横浜市立荏田南小学校	3	
29日(金)	中央支援学校 高等部	1	
	川崎市立西菅小学校	4	
	川崎市立新作小学校	6	
11月	2日(火)	川崎市立東小倉小学校	4
		太陽第二幼稚園	
	5日(金)	麻生養護学校	5
		津田山幼稚園	
		目黒日本大学幼稚園	
	9日(火)	座間市立中原小学校	4
		横浜市立奈良小学校	4
	10日(水)	横浜市立鶴ヶ峯小学校	4
		葉山町立長柄小学校	4
	11日(木)	川崎市立南原小学校	4
		梶ヶ谷幼稚園	
		川崎市立南原小学校	4
	12日(金)	川崎市立生田小学校	4
		川崎市立藤崎小学校	4
		川崎市立藤崎小学校	4
	16日(火)	川崎市立稲田小学校	4
		川崎市総合教育センター教育相談センターゆうゆう広場	
		横浜市立大門小学校	3
	25日(木)	川崎市立川崎小学校	3
		横浜市立大口台小学校	3
		川崎市立川崎小学校	3
	26日(金)	川崎市立真福寺小学校	6
川崎市立小倉小学校		4	
川崎市立小倉小学校		4	
30日(火)	至誠館ゆりがおか保育園		
	川崎市立古市場小学校	4	
	美しが丘小学校	3	
12月	1日(水)	アスク向ヶ丘遊園北保育園	
		中央支援学校稲田分教室	
	3日(金)	川崎市立住吉小学校	4
		川崎市立南野川小学校	4
		川崎市立西野川小学校	4
	7日(火)	いずみ保育園	
川崎市立東生田小学校		4	

		川崎市立東生田小学校	4
	8日(水)	中部児童相談所	
		大和市立桜丘小学校	3
	9日(木)	川崎市立西御幸小学校	4
		梶ヶ谷幼稚園	
		鶴川第二小学校 特別支援級	
	10日(金)	杉並区立東田小学校	2
		杉並区立東田小学校	2
		川崎市立南生田小学校	6
	14日(火)	川崎市立宿河原小学校	4
		潮見台みどり幼稚園	
		山下みどり台小学校	3
	21日(火)	川崎市立日吉小学校	4
		川崎市立日吉小学校	4
		川崎市立日吉小学校	4
	22日(水)	横浜市立大曾根小学校	4
		横浜市立大曾根小学校	4
	23日(木)	川崎市立東住吉小学校	4
		川崎市立向小学校	4
		川崎市立東住吉小学校	4
	24日(金)	川崎市立平間小学校	4
		川崎市立白幡台小学校	4
		川崎市立玉川小学校	4
1月	7日(金)	ユニバーサルキッズ	
	12日(水)	ルミエール幼稚園	
	13日(木)	川崎市立下作延小学校	4
		横浜市立黒須田小学校	3
		仙川教会子どもの家(幼)	
	18日(火)	川崎市立向丘小学校	4
		川崎市立東大島小学校	3
	25日(火)	横浜市立みたけ台小学校	3
	26日(水)	リトルツリーハウスインターナショナルスクール(幼)	
	27日(木)	横浜市立川和東小学校	3
		横浜市立川和東小学校	3
	28日(金)	川崎市立下河原小学校	4
2月	2日(水)	神奈川県立高津養護学校 中等部	1
	15日(火)	川崎市立玉川小学校	6
		神奈川県立高津養護学校 川崎北分教室(高校)	3
		もりのおがわ保育園	
	22日(火)	川崎市立千代ヶ丘小学校	6
	25日(金)	川崎市立王禅寺中央小学校	6
3月	2日(水)	小桜愛児園	
	4日(金)	狛江ちとせ保育園	
		横浜市立桂小学校	3
	8日(火)	川崎市立梶ヶ谷小学校	4
		川崎市立梶ヶ谷小学校	4
	10日(木)	ココファン・ナーサリー登戸(保)	
		初山幼稚園	
		横浜市立和泉小学校	3
	11日(金)	川崎市立橘小学校	4
		川崎市立橘小学校	4
		横浜市立和泉小学校	3
	15日(火)	らいらく保育園	
		川崎市立真福寺小学校	3
	24日(木)	川崎市立京町小学校	4

		芦花の丘かたるば保育園	
	25日(金)	茶々むさしこすぎ保育園	
		アスク 向ヶ丘遊園南保育園	
利用団体数：188 団体、利用者数：13,075 人			
内訳：市立小学校 78・中学校 0、市外小学校 28・中学校 0、高校 1、特別支援学校・支援級 11 幼・保育園 64、その他 6			

⑥ 天文関連展示

常設展示

壁面を利用して、太陽系の天体から銀河系、宇宙の構造等、宇宙の基礎的な内容について展示している。接触感染予防のため、映像展示のタッチパネルを停止し、動画の連続再生に変更した。

特別展示

自然学習棟 1 階・プラネタリウムドーム入口横壁面を使用したパネル展を実施した。(観覧自由)

期間	内容
4月29日～6月13日	河原郁夫氏追悼企画展
10月2日～24日	オーロラ写真展

(3) 科学

① 常設展示

令和2年6月から科学分野の展示として、サイエンスワークショップや科学実験教室での工作物、活動する市民科学団体を紹介する常設展示コーナーを設置した。展示の手法に多摩区と連携した AR コンテンツ(拡張現実)を活用し、工作物の動く様子(動画)を来館者がスマートフォン等で視聴できるようにした。



クルクルヤジロペー



紙ゼンマイで走る車



虹の万華鏡

3 教育普及事業

おうちで楽しむデジタル科学館

新型コロナウイルス感染拡大によりまん延防止等重点措置が適用され、不要不急の外出自粛が求められる中、子どもから大人まで利用者が家庭で楽しめるように、館ホームページに「おうちで楽しむデジタル科学館」を開設し、WEB上で自然・天文・科学分野の情報を発信した。

① おうちでまなぼう！生き物クイズ(自然)

生田緑地に生息する生き物の標本写真を活用し、自宅で動物の体のつくりをクイズ形式で楽しく学ぶコンテンツを引き続き掲載した。

② おうちでプラネタリウム(天文)

プラネタリウムの星空を撮影し、天文担当職員による解説を加えて10分程度の動画を作成した。「お月見」など、計3本の動画を制作し公開した。

③ おうちでワークショップ(科学)

当館で活動する科学市民団体と協働で、家庭で簡単に楽しめる工作物として「正20面体カレンダー」を紹介した。材料のデータ(PDF)をホームページからダウンロードできるようにして掲載した。

(1) 自然

① 生田緑地観察会（委託）

新型コロナウイルス感染防止対策のため11月まで中止した。また、これまで当日申込制で参加者数に定員を設けていなかったが、コロナ禍を踏まえ、定員を設け、事前申込制の縮小開催で12月から再開した。

場 所 生田緑地

定 員 10～20名

講 師 特定非営利活動法人かわさき自然調査団

担当職員 高中健一郎 高橋裕

(定員10～20名 事前申込 参加費無料)

開催日	観察内容	講師（ガイド）	参加人数
4月4日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
4月11日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団 水田ビオトープ班	開催中止
4月18日（日）	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	開催中止
4月25日（日）	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	開催中止
5月2日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
5月9日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団 水田ビオトープ班	開催中止
5月16日（日）	まるごと生田緑地	かわさき自然調査団 植物班・シダ植物班・野鳥班・水田ビオトープ班	開催中止
5月23日（日）	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	開催中止
6月6日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
6月13日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団 シダ植物班	開催中止
7月4日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
7月11日（日）	まるごと生田緑地	かわさき自然調査団 植物班・シダ植物班・野鳥班・水田ビオトープ班	開催中止
7月25日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団 水田ビオトープ班	開催中止
8月15日（日）	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	開催中止
8月29日（日）	地層	かわさき自然調査団 地学班	開催中止
9月5日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
9月12日（日）	昆虫	かわさき自然調査団 昆虫班	開催中止
9月19日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団 シダ植物班	開催中止
10月3日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
10月10日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団 水田ビオトープ班	開催中止
10月24日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団 シダ植物班	開催中止
11月7日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
11月14日（日）	まるごと生田緑地	かわさき自然調査団 植物班・シダ植物班・野鳥班・水田ビオトープ班	開催中止
11月21日（日）	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	開催中止
12月5日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	開催中止
12月12日（日）	冬の蛾	かわさき自然調査団 昆虫班	4
12月19日（日）	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	7
1月16日（日）	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	3
1月30日（日）	地層	かわさき自然調査団 地学班	7
2月6日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	15
2月20日（日）	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	7
3月6日（日）	植物	かわさき自然調査団 植物班	7
3月20日（日）	野鳥	かわさき自然調査団 野鳥班	12
3月27日（日）	まるごと生田緑地	かわさき自然調査団 植物班・シダ植物班・野鳥班・水田ビオトープ班	開催中止
新型コロナウイルス感染防止のため今年度は一部でのみ開催			62

② サイエンス教室（自然）

来館者を対象に、生きものや自然についての解説をすることで、生きものや自然に対する興味を持つきっかけとなる教室、博物館資料を活用した教室を開催した。

- ・「サイエンス教室 ～モグラってどんな生きもの？～」
 対 象 小学生1～6年生とその保護者
 定 員 10組（事前申込 参加費 100円）
 講 師 高中健一郎
 担当職員 高中健一郎
 （定員 10組 事前申込：参加費 100円）
- ・「サイエンス教室 ～生田緑地の地層にふれよう～」
 対 象 小学生5・6年生
 定 員 10名（事前申込 参加費 100円）
 講 師 杉浦孝弘
 担当職員 杉浦孝弘
 （定員 10名 事前申込：参加費 100円）
- ・「サイエンス教室 ～火山の仕組み～」
 対 象 小学4～中学生
 定 員 10名（事前申込 参加費 100円）
 講 師 内藤 武
 担当職員 内藤 武
 （定員 10名 事前申込：参加費 100円）
- ・「サイエンス教室 ～チリメンモンスターをさがせ！！～」
 対 象 小学生3～6年生
 定 員 10名（事前申込 参加費 100円）
 講 師 津田由美子
 担当職員 津田由美子
 （定員 10名 事前申込：参加費 100円）
- ・「サイエンス教室 ～生きている地球 日本列島の成り立ち～」
 対 象 小学4～中学生
 定 員 10名（事前申込 参加費 100円）
 講 師 高橋 裕
 担当職員 高橋 裕
 （定員 10名 事前申込：参加費 100円）
- ・「サイエンス教室 ～バックヤードツアー～」
 対 象 小学生1～6年生とその保護者
 定 員 10組（事前申込 参加費 100円）
 講 師 高中健一郎
 担当職員 高中健一郎
 （定員 10組 事前申込：参加費 100円）
- ・「サイエンス教室 ～春の植物観察会～」
 対 象 小学生以上
 定 員 15名（事前申込 参加費 100円）
 講 師 永井一雄（元青少年科学館職員・むさしの自然史研究会会員）
 担当職員 高中健一郎
 （定員 15名 事前申込：参加費 100円）

開催日	内 容	参加人数
7月31日（土）	サイエンス教室 ～モグラってどんな生きもの？～	12（うち保護者8人）
8月1日（日）	サイエンス教室 ～生田緑地の地層にふれよう～	10（うち保護者0人）
8月20日（金）	サイエンス教室 ～火山の仕組み～	10（うち保護者0人）
9月23日（木・祝）	サイエンス教室 ～チリメンモンスターをさがせ！！～	8（うち保護者0人）
11月3日（水・祝）	サイエンス教室 ～生きている地球 日本列島の成り立ち～	8（うち保護者0人）
3月19日（土）	サイエンス教室 ～バックヤードツアー～	18（うち保護者9人）
3月21日（月・祝）	サイエンス教室 ～春の植物観察会～	11（うち大人8人）
計7回実施 合計		77



③ 自然講演会「科学館・宙と緑の寄席 ～タヌキと自然と人と～」

対 象 小学生4年生以上
 定 員 50名（事前申込）
 講 師 上西 辰延（金原亭 馬治 落語家）本郷 智子（青少年科学館職員）
 担当職員 本郷 智子

実施日	内容	参加人数
3月6日（日）	「科学館・宙と緑の寄席 ～タヌキと自然と人と～」	46
計1回実施 合計		46

④ 出前教室

川崎市中学校から「キャリア在り方生き方教育」への講師依頼があり、出前教室を実施した。

講 師 高中健一郎
 担当職員 高中健一郎 本郷智子

実施日	内容	参加人数
12月3日（金）	「キャリア在り方生き方教育」南生田中学校	25
計1回実施 合計		25

⑤ 地層観察

生田緑地に見られる「飯室層（泥岩層）」、「おし沼砂れき層」、「多摩ローム層」、「立川ローム層」および「飯室層・おし沼砂れき層間の不整合」といった露頭の観察をとおして、地層の成り立ちについて学習するプログラムを、主に小学6年生の理科授業の一環として行った。

また、教員の観察コースの事前下見・相談に対応するとともに、教員の事前学習、生田緑地に来て直接観察することが困難な学校向けに、地層の写真や子どもたちが触って体験できる地層サンプルをまとめた学習キットの貸出しを行い、市内学校8校の利用があった。（地層学習キットについてはP30を参照）

担当職員 高中健一郎 杉浦孝弘 本郷智子 高橋裕 津田由美子

開催日	団体名	参加人数
6月11日（金）	川崎市立野川小学校	129
7月2日（金）	稲城第一中学校 特別支援級	15
8月27日（金）	鷗友学園 中高理科部	28
10月19日（火）	川崎市立東高津小学校	158
10月26日（火）	川崎市立大戸小学校	70
10月26日（火）	川崎市立下布田小学校	53
10月26日（火）	川崎市立大戸小学校	71
10月29日（金）	川崎市立新作小学校	72
11月16日（火）	川崎市立新城小学校	141
11月19日（金）	カリタス女子中学校	113
11月19日（金）	カリタス女子中学校	72
11月26日（金）	川崎市立真福寺小学校	46
11月30日（火）	川崎市立稗原小学校	97
12月3日（金）	学芸大附属小金井中学校	136

12月7日(火)	川崎市立百合丘小学校	156
12月7日(火)	慶応義塾湘南藤沢中等部	105
12月10日(金)	川崎市立南生田小学校	177
12月10日(金)	慶応義塾湘南藤沢中等部	105
12月14日(火)	川崎市立稲田小学校	137
12月14日(火)	大田区立南六郷小学校	68
1月28日(金)	川崎市立梶ヶ谷小学校	89
2月15日(火)	川崎市立玉川小学校	87
2月22日(火)	川崎市立千代ヶ丘小学校	71
2月25日(金)	川崎市立王禅寺中央小学校	91
合計	計 24 回実施 利用校数 21 校	2,287

他にも教育委員会、大学などの要請により、生田緑地において見られる地層の解説を行った。

開催日	大学名	参加人数
7月21日(水)	大田区教育委員会(小中学生団体利用)	20
9月26日(日)	専修大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科	47
2月1日(火)	大妻女子大学	52
	計 3 回実施 合計	94

⑥ 林の観察

生田緑地の樹林における季節ごとの動植物の観察を、理科の学習の一環として行った。



担当職員 高中健一郎 杉浦孝弘 本郷智子 高橋裕 津田由美子

開催日	学校名	参加人数
6月15日(火)	杉並区立杉並第十小学校(1年)	86
6月29日(火)	川崎市立長尾小学校(4年)	31
7月6日(火)	川崎市立千代ヶ丘小学校(4年)	103
11月16日(火)	川崎市適応指導教室(ゆうゆう広場)	17
11月30日(金)	川崎市立幸町小学校(5年)	107
合計	計 5 団体	344

⑦ 総合的な学習の時間における学習支援

生田緑地の自然をテーマに、総合的な学習の時間として課題解決学習の支援を行った。

担当職員 高中健一郎 杉浦孝弘 本郷智子 高橋裕 津田由美子

開催日	学校名	参加人数
5月18日(火)	川崎市立登戸小学校(3年)	114
5月28日(金)	川崎市立登戸小学校(3年)	113
合計	計 2 回実施	227

(2) 天文

① 星を見る夕べ

星を身近に感じ親しむことを目的として、夜間の天体観望会を月2回程度開催した。4月24日から9月までに予定されていた13回は新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。また、平成30年度までは当日自由参加とし、天候不良など観察ができないと見込まれる場合は中止したが、事前申込(定員50人)に変更し、天候不良でも解説のみ実施することにした。

はじめに約30分間、プラネタリウムで星座の位置や探し方を紹介した後、天体観測室(アストロテラス)で天体望遠鏡を使った月・惑星・星雲・星団・二重星の観望を行った。

望遠鏡での観察時は接触感染予防のため、参加者個々に保護用具を使っていた。

担当職員 弘田澄人 内藤武 石阪あすみ 田中里佳 村上ひろ子 三浦飛未来

開催日	観望天体	参加人数
4月10日(土)	M44(散開星団)、カストル	39
4月24日(土)	※中止	—
5月8日(土)	※中止	—
5月22日(土)	※中止	—
6月5日(土)	※中止	—
6月19日(土)	※中止	—
7月10日(土)	※中止	—
7月24日(土)	※中止	—
8月7日(土)	※中止	—
8月14日(土)	※中止	—
8月21日(土)	※中止	—
8月28日(土)	※中止	—
9月4日(土)	※中止	—
9月18日(土)	※中止	—
10月16日(土)	天候不良のため解説のみ実施	40
10月30日(土)	木星、土星	34
11月13日(土)	月、木星	43
11月27日(土)	木星、アルマク(二重星)	43
12月4日(土)	天王星、hχ(二重星団)	41
12月18日(土)	月、アルマク(二重星)	41
1月15日(土)	月、M45(散開星団)	45
1月29日(土)	天王星、M45(散開星団)	42
2月12日(土)	月、天王星	51
2月26日(土)	M45(散開星団)、いっかくじゅう座β(三重星)	44
3月12日(土)	月、M45	39
3月26日(土)	天候不良のため解説のみ実施	17
計 13 回実施 (26 回計画うち 13 回中止)		合計 519

② 出前教室

－1 かわさき星空ウォッチング

学校や地域団体等の依頼により、移動天文車(アストロカー)で科学館の望遠鏡や双眼鏡を会場に運び、楽しみながら夜空の星座や月・惑星などを観察する機会を提供した。(事前申込 無料)

担当職員 弘田澄人 杉浦孝弘 内藤武 石阪あすみ 田中里佳 村上ひろ子

開催日	主催団体(会場)	参加人数	備考
8月24日(火)	根岸子ども会 (川崎市立東生田小学校)		中止
10月29日(金)	東門前小学校 PTA (川崎市立東門前小学校)	40	
11月5日(金)	田島小学校 PTA (川崎市立田島小学校)	130	
12月3日(金)	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブキャンデー (生活クラブ高津センター 3階・屋上)	50	公用車で対応
1月14日(木)	寺子屋みやうち (川崎市立宮内小学校)	90	
2月3日(木)	洗足学園小学校 (洗足学園小学校)		中止
2月10日(木)	平間中学校地域教育会議主催 (川崎市立古市場小学校)		中止
2月22日(火)	はるひ野中学校区地域教育会議 (川崎市立はるひ野小中学校)	300	
3月8日(火)	寺子屋みやうち (川崎市立宮内小学校)	97	
開催要請 9 回,アストロカー出動 5 回,アストロテラス開催 0 回,天候不良中止 0 回。		参加合計: 707	

※8月24日、2月3日、2月10日の出動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

－ 2 出前天文教室

川崎市立中原図書館から依頼を受けて、天文分野に関する出前講座を行った。

講師： 内藤武

開催日	対象	内容	参加人数
8月3日(火)	小学生	移動式プラネタリウム投影机（メガスタークラス）を使用した夏の星座の解説等	27

③ 天文サポーター定例会 ※令和3年度はサポーターの新規募集はなし

「星を見るタベ」等の観察会の開催運営と天文サポーターの資質向上のため、定例会を毎月実施した。主に「星を見るタベ」参加者に配布する資料の作成、自主ゼミ、天体観測の実習による研修を行った。

担当職員 弘田澄人 内藤武 石坂あすみ 田中里佳 村上ひろ子
9回実施、のべ50人参加

④ サイエンス教室（天文）

天体観察等を通して星空や天文学への関心を深めるための教室を実施した。

事前申込 参加費 100円

開催日	講座内容	講師	対象	参加人数
4月17日（土）	星時計を作って北斗七星を見よう	石坂	小学3～中学生	10
6月20日（土）	宇宙ってどんなところ？	田中	小学3～6年生	7
7月30日（金）	日時計を作ろう	内藤	小学1～6年生	11
8月13日（金）	ミニプラネタリウムを作ろう	石坂	小学4～中学生	9
10月13日（水）	月面Xを見よう	田中	15歳以上	6
11月6日（土）	金星・木星・土星を観察しよう	村上	小学3～中学生	10
1月8日（土）	さらまわしで宇宙がわかる！	甲谷保和氏 (科学館天文クラブ)	小学3～中学生	8

⑤ プラネタリウムでのイベント

プラネタリウムの星空の下で音楽を楽しむコンサートや、ドームスクリーンと投影設備を活用した映像イベントを実施した。定員：コンサート90名（12/11は90分 事前申込・観覧料1,800円、3/6は45分 事前申込・観覧料1,000円） オーロラ70名×4回（各回60分 当日券先着順販売・観覧料は一般投影観覧料に同じ）

開催日	内容：タイトル	出演者	参加人数
10月22日（金） 23日（土）	オーロラ トーク&ライブ 「オーロラが私たちに語りかける すてきなメッセージ2021」	オーロラメッセンジャー 中垣哲也氏	194
12月11日（土）	開館50周年記念プラネタリウム コンサート 「星月夜に寄せて」	荒木奏美 (東京交響楽団オーボエ奏者) 中村楓子 (東京交響楽団ヴァイオリン奏者) 宇根美沙恵 (ピアノ)	83
3月6日（日）	プラネタリウムファミリーコンサ ート 「ほしぞらのピクニック」	鈴木まり奈 (東京交響楽団ヴィオラ奏者) 青木菜穂子 (ピアノ)	89

⑥ 天文講演会

開催日	内容：タイトル	講師	参加人数
4月11日（日）	天文ミニ講演会 「宇宙の測り方」	弘田（科学館職員）	12
4月11日（日）	天文ミニ講演会 「日本の科学衛星誕生 50 年」	大川拓也 （宇宙航空研究開発機構）	14
4月18日（日）	天文ミニ講演会 「プラネタリウムよもやま話」	内藤、石阪（科学館職員）	25
4月18日（日）	天文ミニ講演会 「春の星座と銀河の広がり」	國司眞（元科学館職員）	30
4月25日（日）	天文ミニ講演会 「5月26日の皆既月食を見よう」	田中（科学館職員）	14
4月25日（日）	天文ミニ講演会 「帰ってきた『はやぶさ2』」	大川拓也（宇宙航空研究開発機構）	29
12月25日（土）	天文講演会 「天文学の常識を書き換えたアルマ望遠鏡の10年」	平松正顕（国立天文台）	35

⑦ アストロテラス公開

自然学習棟3階のアストロテラスにて、昼間の天体観察会を行った。

天候不良時及び熱中症危険レベルの場合は中止とした。

新型コロナウイルス感染症予防のため平日に限りモニター上での太陽観察のみ実施。

（参加自由 無料）

公開日	時間	観察する天体
平日（休館日を除く）	14:00～14:45 (7,8月は15:45～16:15)	太陽（白色光、H α 光）

⑧ プラネタリウムワークショップ

プラネタリウムや宇宙に興味を持つ子どもたちが参加し、プラネタリウムの番組を制作し、発表する教室を実施した。

対象 小学4～6年生

講師 田中里佳（定員10名 事前申込 参加費無料）

	開催日	講座内容
第1回	5月30日（日）	開講式、オリエンテーション
第2回	6月27日（日）	プラネタリウムってなんだろう？
第3回	7月25日（日）	プラネタリウムの仕組みを知ろう
第4回	9月5日（日）	プラネタリウムを動かしてみよう
第5回	9月26日（日）	どんな話をしたいか考えよう
第6回	10月24日（日）	シナリオを作ろう
第7回	11月21日（日）	シナリオを作ろう
第8回	12月5日（日）	練習をしよう
第9回	1月23日（日）	練習をしよう
第10回	2月13日（日）	練習をしよう
第11回	2月27日（日）	リハーサルをしよう
第12回	3月13日（日）	発表会

⑨ 市民プラネタリウム発表会

市民団体かわさきプラネタリウム同好会が番組制作、操作、解説を行うプラネタリウム投影を実施した。

開催日	時間	内容	参加人数
12月19日(日)	16:10～16:50	「名前から探る星空の旅」	83

(3) 科学

① サイエンス教室 (科学)

自然・科学・天文の各分野のテーマを前面に伝えることで、市民に分かりやすく選択しやすくなるように広報の効率化を図った。令和3年度は32回を実施した。

開催日	内容	講師	対象	参加人数
4月10日(土)	不思議な石・磁石で遊ぼう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	15
5月1日(土)	生物多様性を学ぼう～水棲生物の分類を通して～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	5
5月8日(土)	ロウソクの不思議	かわさきアトム工房	小学3～6年生	13
5月30日(日)	ねじれの不思議！(親子参加型)	トラボクラブ	小学1・2年生	13
6月5日(土)	塩の科学 ～塩でいろいろ実験～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	12
6月12日(土)	ゼネコンで遊ぼう(親子参加型)	かわさきアトム工房	小学1・2年生	24
7月3日(土)	バネばねバネ！バネの科学	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	12
7月10日(土)	割りばしに翼をつけてみよう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	12
8月6日(金)	夏は涼しく低温実験	館職員	小学4～中学生	9
8月14日(土)	かがみのパズル	かわさきアトム工房	小学1～6年生	12
9月4日(土)	電気分解 ～電気の力で物質を分解～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	10
9月11日(土)	燃料電池をつくろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	11
10月2日(土)	重心を理解しよう	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	11
10月3日(日)	まゆ玉ころりん(親子参加型)	トラボクラブ	小学1・2年生	20
10月9日(土)	葉脈のしおりに作ろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	13
10月11日(月)	おもりのはたらき(家庭と地域の日・親子参加型)	かわさきアトム工房	小学1・2年生	8
10月17日(日)	RoboLab プログラミング教室	チーム・コスモス	小学5・6年生	6
10月24日(日)	照明付きガラス玉顕微鏡(大人向け科学教室)	トラボクラブ	15歳以上 (中学生除く)	4
11月6日(土)	油の科学 ～生活に欠かせない油～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	10
11月13日(土)	フクロウの食痕(ペリット)を探る(親子参加型)	かわさきアトム工房	小学3～6年生	18
12月4日(土)	うく？しずむ？どっち？	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	8
12月11日(土)	暦のはなし	かわさきアトム工房	小学3～6年生	11
12月12日(日)	偏光板の理論を理解し変色する模様を観察しよう	サイエンス・ちゃれんじ・チーム	15歳以上 (中学生除く)	8
1月8日(土)	コマを作って回そう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	11
1月10日(月・祝)	「飛ぶもの」の科学 ～作って、飛ばして、学ぼう～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	11
1月30日(日)	親子で作ろう！光の3D万華鏡(親子参加型)	トラボクラブ	小学1・2年生	12
2月5日(土)	回転して飛ぶ、ジャイロの不思議	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	8
2月12日(土)	歯車の不思議	かわさきアトム工房	小学3～6年生	11
2月13日(日)	空気で遊ぼう(親子参加型)	館職員	小学1・2年生	14

3月5日(土)	力点、支点、作用点を探る ～身近なてこ～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	6
3月12日(土)	野菜の科学	かわさきアトム工房	小学1～6年生	9
3月13日(日)	Robolabプログラミング教室	チーム・コスモス	小学5・6年生	6
32回実施 計				353人



10月のサイエンス教室の様子

(左から、10/11 親子参加型教室 10/17Robolab プログラミング教室 10/24 大人向け科学実験教室)

② サイエンスワークショップ

ー1 サイエンスワークショップ

1回 15～20分程度でできる工作・実験等の体験学習事業。令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場となる学習室を広く設定し、整理券による完全入替制にて開催した。2月開催のサイエンスショーも、サイエンスワークショップの事業に含めた。

講師： かわさきアトム工房、トラボクラブ、NPO法人科学実験教室サポーター・くじら、サイエンス・ちゃれんじ・チーム、チーム・コスモス、科学館職員

担当職員： 高中健一郎 杉浦孝弘 本郷智子 高橋裕 津田由美子 (参加自由 無料)

開催日	内容	参加人数
4月3日(土)	生田緑地のスマイルの見分け方(自然分野)	25
4月10日(土)	まゆ玉コロコロ	41
4月17日(土)	走りまわる糸車を作ろう!	18
4月24日(土)	ストローコプターをつくろう	42
4月29日(木・祝)	風で遊ぼう、風車	27
5月1日(土)	かざぐるま	39
5月2日(日)	かのにの横歩き	44
5月3日(月)	Xジャイロ	49
5月4日(火)	プラトンボ	70
5月5日(水)	クルクルヤジロベエを作って遊ぼう	48
5月8日(土)	マグヌスカップ	46
5月15日(土)	不思議! 転がすと戻ってくる戻り車を作ろう!	39
5月22日(土)	ぶんぶんゴマ	45
5月29日(土)	Xジャイロを飛ばそう	39
6月5日(土)	タンポポ	39
6月12日(土)	クルクルシャボン玉	42
6月19日(土)	おもしろステンドグラスを作ろう	33
6月26日(土)	針金トンボモビール	40
7月3日(土)	ダンゴムシを調べてみよう(自然分野)	45
7月10日(土)	「キツツキ虫」で遊ぼう	55
7月22日(木・祝)	紫外線パワー!! 青空写真	26
7月24日(土)	ストロー風車	40
7月31日(土)	ゆらゆら動く? 不思議なサイコロ	38
8月7日(土)	セミのぬけがらをしらべてみよう(自然分野)	31
8月14日(土)	透視マジックを作って遊ぼう	53
8月21日(土)	飛ぶ種のお不思議	25

8月28日(土)	折り紙でアルソミトラ	31
8月29日(日)	クルクル磁石	56
9月4日(土)	タネの不思議(自然分野)	18
9月11日(土)	万華鏡を作ろう	47
9月18日(土)	写し絵できれいなしおりを作ろう!	23
9月20日(月・祝)	マジックキューブを作ってゲームをしよう	39
9月23日(木・祝)	虹の万華鏡	42
9月25日(土)	紙巻ゴマ	41
10月2日(土)	ドングリを調べてみよう(自然分野)	47
10月9日(土)	トコトコカップ	41
10月11日(月)	ストロブター	35
10月16日(土)	宙返りする親猫子猫	44
10月23日(土)	ミニ空気砲をつくろう	53
10月30日(土)	しゅわしゅわ入浴剤を作ろう	46
11月6日(土)	生物多様性を知ってますか?(自然分野)	18
11月13日(土)	引っぱると絵が変わるカード	46
11月20日(土)	磁石シートであそぼう	36
11月23日(火・祝)	サンタクロスとクリスマスツリーを作ってみよう	46
11月27日(土)	ぶんぶんゼミをつくろう	46
12月4日(土)	飛び出すカードを作ってみよう	29
12月11日(土)	ユラユラサンタさん	46
12月18日(土)	空飛ぶパイプ!	22
12月25日(土)	正20面体カレンダーをつくろう	24
1月8日(土)	暗やみで光るスライムを作ろう	28
1月10日(月・祝)	ガリガリプロペラで遊ぼう	46
1月15日(土)	おる!きる!かみ1まいのペンたて	17
1月22日(土)	まほうのステンドグラス	27
1月29日(土)	プラコップUFOを飛ばそう	39
2月5日(土)	きれいな石を探してみよう(自然分野)	28
2月12日(土)	あそぼうロボットハンド	35
2月19日(土)	この指とまれバランストンボ	26
2月26日(土)	ストローでクレーンをつくろう	42
3月5日(土)	生田緑地のスマイレ(自然分野)	17
3月12日(土)	クルクルのぼり虫	40
3月19日(土)	石はおもしろい!古代勾玉をつくろう	23
3月26日(土)	3D天気図を作ってみよう!	20
	62回実施 合計	2,303人



ー 2 サイエンスショー

来館者の科学に関する興味・関心を深めることを目的としたサイエンスショー(科学実験ショー)を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各回定員30名の整理券方式で午前・午後に実施した。

講師： 網倉聖子氏(2/11) 飯塚真喜子氏(2/23) (両氏ともトラボクラブ)

担当職員： 高中健一郎

開催日	サイエンスショー・実演テーマ	参加人数
令和4年2月11日(金・祝)	マイナス196℃の世界を観察しよう! (午前の部)	19

	〃	(午後の部)	22
令和4年2月23日(水・祝)	おっとっと！バランス・つりあい	(午前の部)	31
	〃	(午後の部)	30
計4回実施 合計			102人

③ 子ども創意くふう教室

子どもの創造性を伸ばすことを目的に、一人ひとりが作りながら考えるものづくり体験学習教室として連続5回実施した。

対象： 小学3年生～中学生

講師： 川崎市立小学校教員・元教員

担当職員： 高橋裕 本郷智子 (定員12名 事前申込 参加費500円)

開催日	内 容	参加人数
12月5日(日)	パズルでくふう	11
12月12日(日)	カードでくふう	9
12月19日(日)	鏡でくふう	10
1月9日(日)	磁石でくふう	10
1月23日(日)	空気でくふう	9
計5回実施 合計		49

※5回の連続講座として、参加者を一括募集にて実施した。

④ 出前科学実験教室

かわさきアトム工房が市内の実施団体から依頼を受けて、「ワクワクドキドキ玉手箱」を使った出前実験を行った。

講師： かわさきアトム工房 担当職員： 杉浦孝弘 津田由美子

開催日	実施団体	内 容	参加人数
6月19日(土)	寺子屋たかつ	万華鏡づくり	35
7月12日(月)	下沼部小学校 2年生5クラス	重心で遊ぼう	155
7月12日(月)	片平小学校科学クラブ	科学マジックショー	27
7月18日(日)	ボーイスカウト川崎54団ビーバー隊	水ロケット	62
7月27日(火)	千代ヶ丘小学校わくわくプラザ	ペットボトルロケット	54
7月28日(水)	よつばクラブ 2年生	空気のちから	33
7月29日(木)	よつばクラブ 1年生	空気と水	39
7月30日(金)	よつばクラブ 3～6年生	大気圧	25
10月13日(水)	白幡台こども文化センター	わりばしに翼をつけてみよう	9
10月13日(水)	下沼部小学校特別支援学級	ドライアイスで遊ぼう	30
10月18日(月)	戸手小学校科学クラブ	ドライアイスで遊ぼう	21
10月20日(水)	下沼部小学校 5年生5クラス	大気圧	183
10月28日(木)	木月小学校サイエンスクラブ①	水ロケットを科学する(製作)	20
11月20日(土)	西高津中学校(第二理科室)	超低温の世界	32
11月25日(木)	木月小学校サイエンスクラブ②	水ロケットを科学する(飛ばし)	20
12月8日(水)	犬蔵中学校(5クラス)	超低温の世界	192
12月17日(金)	下沼部小学校 4年生5クラス	鏡を使って遊ぼう	170
12月20日(月)	下布田小学校理科クラブ	超低温の世界	22
12月23日(木)	川崎市中学校理科初任者研修	燃えるもの	2
12月23日(木)	川崎市中学校理科初任者研修	大気圧	2
1月18日(火)	柿生小学校科学クラブ	ブルブルモーターカー	33
1月20日(木)	菅小学校科学クラブ	ドライアイスであそぼう!	30
22団体 38回実施			1,196人

⑤ かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」

「ワクワクドキドキ玉手箱」(前述)を活用した子どもの体験学習の機会を増やすため、かわさきサイエン

スチャレンジ運営委員会が主催する科学の祭典「かわさきサイエンスチャレンジ」において、「科学とあそぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度に引き続き、中止となった。

⑥ 科学サポーター研修会

市民を対象として、子どもたちに科学の楽しさを伝えることのできる指導者を育成するための講座(全6回)を開講した。研修受講者は、館内イベント(サイエンス教室・サイエンスワークショップ)において科学実験の実演を行った。

対 象： 18歳以上(高校生不可)

受 講 生： 9名

講 師： 由良文隆氏 小林由紀氏 小川絵里氏(講師3名かわさきアトム工房所属) 館職員

担当職員： 杉浦孝弘 本郷智子 (定員12名 事前申込 参加費500円)

開講日	内容	参加人数
7月4日(日)	ガイダンス、ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介①、実験と安全について、実験教室の運営について	8
7月11日(日)	ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介②、テーマを大切にしたい実験教室の実際、7月18日の実験教室のプログラム作成	9
7月18日(日)	実験教室アシスタントの実践、実験教室の反省とサイエンスワークショップの実施準備	8 22※1
8月8日(日)	サイエンスワークショップに向けての工作・実演準備	7
8月29日(日)	科学サポーター研修生によるサイエンスワークショップ開催	7 56※2
9月11日(土)	修了式、地域での活動について	8
連続6回 合計		47

※1 サイエンス教室「くるくる磁石 磁石を動かそう」を開催し、科学教室アシスタントとしての実践を行った。小学生親子22名の参加があった。

※2 科学サポーター受講生によるサイエンスワークショップを開催し、56名が利用した。



⑦ 出前教室

科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関する題材をテーマに出前教室を行う。

「教育普及」(1)自然④出前授業(P17)に掲載

⑧ ゆうゆう広場科学実験教室

川崎市適応指導教室(ゆうゆう広場)からの依頼を受けて、「ワクワクドキドキ玉手箱」などを使った科学実験教室や出前科学実験教室を行った。

講 師： 由良文隆氏(かわさきアトム工房) 担当職員： 杉浦孝弘

開催日	実施団体	会 場	内 容	参加人数
5月19日(水)	ゆうゆう広場・みゆき	青少年科学館	もしも原子が見えたなら	4
5月26日(水)	ゆうゆう広場・さいわい		もしも原子が見えたなら	5
6月2日(水)	ゆうゆう広場・なかはら		もしも原子が見えたなら	8
6月9日(水)	ゆうゆう広場・たかつ		もしも原子が見えたなら	5
6月16日(水)	ゆうゆう広場・たま		もしも原子が見えたなら	2
6月23日(水)	ゆうゆう広場・あさお		もしも原子が見えたなら	7
7月7日(水)	ゆうゆう広場・みゆき		ゆうゆう各広場	コマで遊ぼう
7月14日(水)	ゆうゆう広場・さいわい	コマで遊ぼう		10
9月1日(水)	ゆうゆう広場・なかはら	コマで遊ぼう		4

9月 8日 (水)	ゆうゆう広場・たかつ		コマで遊ぼう	6
9月15日 (水)	ゆうゆう広場・たま		コマで遊ぼう	5
9月29日 (水)	ゆうゆう広場・あさお		コマで遊ぼう	7
11月10日 (水)	ゆうゆう広場・みゆき	ゆうゆう各広場	ふりこと振動	3
11月17日 (水)	ゆうゆう広場・さいわい		ふりこと振動	3
11月24日 (水)	ゆうゆう広場・なかはら		ふりこと振動	6
12月 1日 (水)	ゆうゆう広場・たかつ		ふりこと振動	7
12月 8日 (水)	ゆうゆう広場・たま		ふりこと振動	4
12月15日 (水)	ゆうゆう広場・あさお		ふりこと振動	7
1月12日 (水)	ゆうゆう広場・みゆき	青少年科学館	二十面体作り／音と振動	3
1月19日 (水)	ゆうゆう広場・さいわい		二十面体作り／音と振動	6
1月26日 (水)	ゆうゆう広場・なかはら		二十面体作り／音と振動	8
2月 2日 (水)	ゆうゆう広場・たかつ		二十面体作り／音と振動	7
2月 9日 (水)	ゆうゆう広場・たま		二十面体作り／音と振動	2
2月16日 (水)	ゆうゆう広場・あさお		二十面体作り／音と振動	7
			計 24 回実施 合計	130 人

⑨ 「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用

科学を身近に体験できるよう開発した科学実験キット「ワクワクドキドキ玉手箱」を、サイエンス教室(①-1)、サイエンスワークショップ(②)、出前科学実験教室(④)、学校の貸出要請などで活用し、子どもの科学への関心喚起・促進を図った。

「ワクワクドキドキ玉手箱」利用状況

No.	玉手箱の名称	実施回数	No.	玉手箱の名称	実施回数
1	「光通信」光でモシモシ	0	13	重心であそぼう!	11
2	浮沈子	0	14	もしも原子が見えたなら	0
3	モーター	3	15	熱をだすもの	0
4	電池を作ろう!	1	16	真空の科学	0
5	川崎自然ロケ隊	0	17	超低温の世界	7
6	飛ぶもの	8	18	虹をつくろう!	0
7	科学マジックショー	21	19	ドライアイスであそぼう!	4
8	君も科学捜査官	0	20	音	1
9	水ロケットを科学する	5	21	磁石	3
10	鏡を使って遊ぼう	7	22	レンズ	0
11	燃えるもの	2	23	DNA	0
12	大気圧を感じよう	10	24	静電気	0
			合計		83

(4) 出版事業

川崎市青少年科学館紀要 第32号

① 報告・記録

- ・生田緑地における外来種ムネアカハラビロカマキリ *Hierodula* sp.の生息状況について
 高中健一郎・本郷智子・高橋裕・津田由美子
- ・川崎市麻生区におけるヤマダカレハ *Kunugia yamadai* Nagano, 1917 の記録
 (横田光邦・佐野悦子・宮内隆夫)
- ・多摩川河口域の野鳥 (佐野悦子・大橋毅・佐々木麻子・佐藤裕子・中村亨)・高中健一郎
- ・生田緑地におけるスミレ属の記録 (佐藤登喜子・矢澤昌子)・高中健一郎

- ・生田緑地におけるサイゴクイノデ *Polystichum pseudomakinoides* Tagawa の初記録について
 (田村成美)・(大貫はるみ)・高中健一郎
- ・生田緑地における皆伐更新の試み
 (岩田臣生)
- ・川崎市青少年科学館における来館者からのレファレンスについて
 本郷智子・高中健一郎・杉浦孝弘・高橋裕・津田由美子
- ・2020年の太陽黒点観測報告
 内藤武
- ・2021年夏季「かわさき星空調査」(肉眼による調査)結果報告
 田中里佳
- ・2021年天文現象の観測記録
 田中里佳・内藤武
- ・日本民家園とコラボした「お月見動画」の制作
 田中里佳・(関悦子)
- ・プラネタリアムのシステム更新について
 弘田澄人
- ・2021年のプラネタリアム一般向け番組制作
 弘田澄人・内藤武・石坂あすみ・田中里佳・村上ひろ子・(糸賀星成)
- ・かわさきの星空 50年
 弘田澄人
- ・地層学習キットの開発と学校利用の実際
 杉浦孝弘・高橋裕・津田由美子
- ・日本列島の成り立ち
 高橋裕
- ・鏡の使い方を工夫した万華鏡
 高橋裕
- ・磁石のはたらきで浮かぶ惑星
 高橋裕
- ・気象観測記録 (2021)
 高中健一郎

② 寄稿

- ・河原郁夫氏を偲んで
 弘田澄人・石坂あすみ

※ () 内は職員外

(5) その他

新聞記事を含む普及的著作

- 高中健一郎, 2021a. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 164. 「ヒメスミレ 道端の隙間に逞しく」(令和3年4月27日付) .
- 高中健一郎, 2021b. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 173. 「セミ 季節感じるせみ時雨」(令和3年9月7日付) .
- 高中健一郎, 2021c. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 182. 「ルリビタキ 鮮やかな青色の野鳥」(令和4年1月19日付) .

4 調査研究事業

(1) 学芸員・職員等による調査研究

① ムネアカハラビロカマキリ調査

生田緑地の外来生物調査として、外来種のムネアカハラビロカマキリと在来種のハラビロカマキリの生息状況を調査した結果、生田緑地ではムネアカハラビロカマキリとハラビロカマキリの置き換わりの傾向はみられたものの、完全な置き換わりには至っていなかった。調査結果については、紀要第32号で公表した。置き換わりの傾向の程度を知るために、来年度も調査を継続し、データを蓄積する。

② 川崎市域の星の見え方調査

夏季と冬季に写真撮影による星の見え方調査として、NPO法人星空公団の協力により、撮影データによる星空診断を行った。また、より多くの市民が関心を持ち、参加できるよう夏季には肉眼による観察を行った。職員と天文サポーターによる観測の他、インターネットを通じた市民参加により、市内複数箇所におけるデータ収集を実施した。

③ 天体の観測

月食等の天文現象、惑星、太陽を観測した。また、今後の観測的研究を発展させるため観測手法の開発や試験観測を実施し、計画的な星雲星団の観測を開始した。

④ 気象観測

自然学習棟の玄関横に設置した気象観測装置を通年運用し、気温、気圧、風向、風力、降水量を連続観測した。気象情報は視覚化し展示室にリアルタイムで掲示し、観測データを保存するとともに、「青少年科学館紀要 32号」に掲載した。

⑤ ワクワドキドキ玉手箱の改良・新規開発

科学実験教室や講座及び出前科学実験教室で行われた実践に基づく興味・関心を高めるような玉手箱の改良及び新規開発を行った。

令和元年度から、24種類に拡大した玉手箱の物品・消耗品・指導用資料などを整理し、データ化する作業を進めた。9種類まで完了した玉手箱のデータ化を令和2年度は14種類まで実施し、令和3年度にて24種類の物品のデータ化を完了した。今後は、既存の玉手箱から学校現場での利用促進をねらった教材のブラッシュアップに取り組む。

⑥ 地層学習キットの開発・検証

生田緑地の地層を実際に歩きながら紹介する当館の学習プログラムは、例年多くの学校の利用があるが(P20)、科学館から離れている地域など、生田緑地への校外学習が困難な学校も多い。令和元年度の青少年科学館専門部会の助言も踏まえ、こうした学校の理科学習を支援するため、地層の露頭写真、見て触わって体験できる地層サンプルなどをまとめた地層学習キットを開発した。令和3年度は地層学習キットの効果についてサイエンス教室(自然分野)や学校への貸出利用をもとに検証し、その結果を紀要第32号に掲載した。

(2) 外部研究者の受入

堀内慈恵(神奈川県植物誌調査会)

当館収蔵川崎市産植物標本の調査研究(2021年4月20日、6月15日、6月22日、8月6日、11月20日、12月21日、2022年1月15日、3月23日、3月29日)

早川宗志(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

当館収蔵川崎市産植物標本の調査研究(2021年12月10日)

(3) 生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖研究(委託)

全国的にも激減し、神奈川県 RDB 2006 においても絶滅危惧 1B 類に指定されているホトケドジョウの、生田緑地産個体群の系統(遺伝子)保存のため、神奈川県水産技術センター内水面試験場(相模原市)に、人工飼育・増殖研究を委託し実施した。

(4) 市域の生物調査および自然史資料(標本)収集・作製(委託)

市域の自然環境調査、主として生田緑地の動植物の生息状況把握のための実態調査を行うとともに、自然史資料の収集および標本化を行った。

担当職員 高中健一郎 本郷智子

委託先 特定非営利活動法人かわさき自然調査団

植物班	調査・標本作製・同定・収蔵 標本整理等	國弘明子、佐藤登喜子、佐藤ミツ子、白澤光代、武久春美、谷口紀美代、田渕まこと、富樫慶四郎、林美幸、増田将、村井正蔵、矢澤昌子、吉田多美枝、吉留憲子
シダ植物班	調査・標本作製・収蔵標本整理等	岩片紀美子、大貫はるみ、島津キク江、園田明子、田村成美、長谷川和甫、林美幸
野鳥班	野外調査等	稲澤尚代、大橋毅、大森洋子、金井美智子、亀岡千佳子、國司眞、佐々木麻子、佐々木和子、佐藤裕子、佐原千春、佐野悦子、下條喜代子、瀧孔一郎、中村亨、福田公子、細田健二、細田理絵、水田茂子、森佳子
昆虫班	調査・同定・収蔵標本整理等	赤石奈見、岩崎信一、佐野悦子、成田和子、雛倉正人、宮内隆夫、横田光邦、山本晃
水田ビオトープ班	野外調査等	岩田芳美、藤間熙子、野口美年子

5 資料収集・保管事業

(1) 自然関係収蔵資料の分類・整理（台帳化）

① 収蔵標本（自然史資料）の整理および配架状況

新規作製の昆虫標本 255 点のうち 47 点について電子台帳登録後、同定作業を、既存の寄贈資料の昆虫標本 6,693 点のうち 1,333 点について電子台帳登録を、704 点について電子台帳登録後、同定作業を行った。

② 分類群ごとの標本作製

資料収集として剥製及び標本化を行い、哺乳類 4 点、鳥類 22 点、爬虫類 1 点、昆虫 255 点、植物 292 点、計 574 点を新規に作製した。

(2) GBIF 等国内外機関への自然史資料情報の提供

標本データ 1,800 点を GBIF へ提供、世界に向けて公開した。GBIF とは、生物多様性に関する情報を各国、各機関で収集し、ネットワークを通じて全世界的に相互活用することを目的とする、国際協力による科学プロジェクトである。プロバイダごとにデータが集積され、その数は GBIF 全体では約 16 億件（2021 年 3 月時点）に達している。また、(独) 国立科学博物館を中心に推進している自然史標本データ整備事業では、上記 S-Net（サイエンスミュージアムネット）により、国内向けにもデータ公開がなされている。

*Global Biodiversity Information Facility（地球規模生物多様性情報機構）

(3) 収蔵庫研究利用実績

外部研究者による収蔵資料（標本）の研究に伴う収蔵庫利用や見学の内訳は、以下の通りである。

※「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」による利用実績は、のべ 46 件 225 人である。

利用日	利用者（機関・団体・個人）	利用人数
4 月 20 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
6 月 15 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
6 月 22 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
8 月 6 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
11 月 20 日（土）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
12 月 10 日（金）	早川宗志（ふじのくに地球環境史ミュージアム）	1
12 月 21 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
1 月 15 日（土）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
3 月 23 日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
3 月 29 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
	合計	11

(4) プラネタリウム番組アーカイブ化

番組制作時に収集した資料と投影番組の素材、プログラム等をアーカイブ化しシステムに保存した。

(5) 太陽表面観測データ整理

アストロテラス太陽望遠鏡による太陽の白色光と H α 光の観測を継続して実施している。そのデータをハードディスクに保存整理した。

(6) 寄贈資料整理 (天文)

元東京天文台講師の富田弘一郎氏から寄贈された天文資料の整理を引き続き実施し、資料のデジタル化を開始した。

(7) 所蔵図書および文献資料の整理

交換あるいは寄贈を受けた雑誌や図録などは、発行元の各館または施設ごとに設置した紙箱（ボックス）に逐次収納している。

担当職員 津田由美子 村上ひろ子（受入・記録・仮配架）

(8) 資料燻蒸

令和3年8月29日から9月3日まで、酸化プロピレン・アルゴン混合ガスによる殺虫、殺卵、殺カビを目的とした収蔵庫の燻蒸を行った。これに伴い、8月31日（火）を臨時休館とした。

(9) 科学実験データ共有化

科学実験教室ごとに報告される報告書の管理及び実践事例等の収集を行った。科学ボランティア団体が相互に活用できるような、「実践事例集」の土台となる計画書の整理に努めた。

(10) 開発実験器具等の保管

玉手箱の管理と保管と利便性の向上のため、科学実験教室で使用する消耗品などの補充や、使用できる備品の整理などを月に1度計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をふまえ、令和3年度は5回実施した。

(11) 科学館収蔵資料の貸与

茅野市八ヶ岳総合博物館

同館ロビー展示「星空を受け継ぐ者たち 青木正博」（令和3年12月15日～令和4年1月30日）の開催にあたり、当館所蔵の箕輪資料から「1972年日本星空を守る会の写真」を含むアルバム1点を貸与した。

6 ネットワーク事業

(1) 展示・企画

① 「プチロボで競争しよう」（共催事業）

神奈川県立青少年センターとの共催事業。青少年がものづくりを体験しながら科学に親しみ、その創造性を育むことをねらいとする講座を開催した。

対象：小学生3～6年生

講師：神奈川県立青少年センター職員・市民ボランティア

担当職員：杉浦孝弘

（事前申込 参加費 無料）

開催日	内 容	参加人数
11月14日（日）	ハンダ付け工作をしてみよう！ 2021年度 プチロボで競走しよう 川崎②大会	18
	合計	18

※参加人数は、小学生の参加者数

② 「かながわりレー科学教室」（共催事業）

令和3年度は県内他施設での開催意向のため、当館での開催なし。

③ **FIELD MUSEUM：親子で楽しく学べるカガクおもちゃ（共催事業）**

専修大学ネットワーク情報学部 2 年コンテンツデザインプログラムを専攻する学生たちが、学童保育施設との連携にもとづきデザインした体験型教材について、10 つのブースによるワークショップ形式で開催した。令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、会場を学習室と科学館外周に広げ、参加者に体験キットを配付することで 3 密回避を徹底の上、実施した。

開催日： 令和 4 年 1 月 16 日（日）

展示場所： 自然学習棟 2 階学習室・科学館外周
（参加自由 無料）

参加人数： 250 名



④ **川崎市臨海部企画展示「なるほど！ザ・川崎臨海部」**

川崎市臨海部事業推進部から青少年科学館との連携による展示会開催の要請があり、館内プラネタリウム壁面、学習室通路でのパネル展示を行った。また、開催期間中の週末には、学習室 1 を使用した展示会や参加企業によるワークショップを実施した。

開催期間： 令和 3 年 12 月 5 日（日）～12 月 26 日（日）

展示場所： 自然学習棟 1 階プラネタリウム壁面・2 階学習室通路（パネル掲示）

自然学習棟 2 階学習室 1（企画展示会開催・12/5,11,12,19,25,26）

自然学習棟 2 階学習室 2・3（iCONM によるワークショップ開催・12/19,26）

参加人数： 企画展示会来室人数 3,332 名

企業ワークショップ 58 名

(2) 調査研究・収集保存

① **川崎市内の生物調査**

生田緑地における動植物の生息状況把握のための実態調査、資料収集・標本化について、「市域の生物調査および自然史資料（標本）収集・作製」として「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」に委託した。実施にあたり、作業内容の検討、収蔵庫や作業諸室の利用等、連携協力した。科学館 50 周年に刊行した一般向け普及用冊子「川崎のいきもの」に関わる企画展「川崎の生きもの」では解説パネルや写真の準備にあたり、連携協力した。

(3) 学習支援

① **職場体験・職業インタビュー**

中学校等の依頼に基づき、博物館業務の解説、業務の一部を体験学習させる職場体験を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、学校団体からの要請は大きく減少した。感染症拡大防止のため、人数を制限した体験活動、学芸職員の出張による講話、リモートによる職業インタビュー等、学校団体の要請に対応する形で実施した。

開催日	内 容	実施形態	参加人数
7 月 30 日（金）	インターンシップ地域連絡協議会 （県立麻生総合高等学校、県立川崎高等学校）	職場体験	4
11 月 11 日（火）	神奈川県立多摩高等学校	出張講話	35
1 月 20 日（木）	川崎市立平間中学校（リモート）	職業インタビュー	6
2 月 1 日（火）	川崎市立柿生中学校	職業インタビュー	4
3 月 11 日（金）	川崎市立はるひ野中学校	出張講話	33
		5 回実施 合計	82

② 中学校連合文化祭開催への協力

川崎市立中学校連合文化祭実行委員会の依頼に基づき、県理科作品展の優秀作品及び日本学生科学賞出品の中学生による研究発表会に参加し、北部中学校の会場として協力した。

開催日： 令和3年10月27日（水）
 場所： 自然学習棟2階学習室・プラネタリウムドーム
 参加者： 70名
 （宮前区、多摩区、麻生区の市立中学校生徒52名・教員18名）
 主催： 川崎市立中学校連合文化祭実行委員会（理科部門）
 担当職員： 杉浦孝弘 弘田澄人



③ 教員研修会

市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により実施した。
 担当職員： 高中健一郎 杉浦孝弘 本郷智子 高橋裕 津田由美子

開催日	内容	対象	参加人数
4月13日（火）	林の観察研修	杉並第十小学校	3
6月1日（火）	地層学習研修	稲城第一中学校	1
6月17日（木）	地層学習研修	鷗友学園 中高理科部	2
7月28日（水）	地層学習研修	川崎市立小学校理科教育研究会	4
8月4日（水）	地層学習研修	川崎市立下布田小学校	2
8月19日（木）	地層学習研修	川崎市立向丘小学校	4
8月26日（木）	地層学習研修	川崎市立東生田小学校	3
9月1日（水）	地層学習研修	御茶ノ水女子大学附属小学校	5
10月8日（金）	林の観察研修	川崎市立幸町小学校	3
11月20日（土）	林の観察研修	川崎市立幸町小学校	3
11月20日（土）	天体観測研修	横浜国立大学主催教員CST養成プログラム	13
12月15日（水）	天体観測研修	川崎市総合教育センター主催教員研修	12
12月23日（木）	科学実験研修	中学校理科初任者教員指導力向上研修	2
1月26日（水）	地層学習研修	川崎市立王禅寺中央小学校	3
計 14回 13校・団体 合計			60

④ 教職員社会体験研修

主に、神奈川県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に勤務する教職員の若手教員5年経験者研修及び10年経験者研修対象者の希望により、館の業務体験の機会を提供する。

受入日	実施校	参加人数
8月6・7日（金・土）	神奈川県立えびな支援学校 教員	1
8月20日（金）	東京都多摩市立鶴牧中学校 教員	1
	合計	2

⑤ 学芸員実習

大学からの依頼により、学芸員実習（博物館実務実習）を実施した。
 担当職員 弘田澄人 高中健一郎 杉浦孝弘 内藤武

受入日	大学名	参加人数
8月17日（火）～27日（金）	お茶の水女子大学、信州大学、東京農業大学、日本大学、北里大学、東京都市大学	10

⑥ 川崎市小学校理科優秀作品展

小学校児童の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の小学生が夏休みを中心に取り組んだ理科自由研究の中から、優秀と認められた作品(各区の市長賞受賞作品)、7作品を展示していたが、令和2年度に引き続き作品展中止に伴い、館内展示の開催も中止した。

⑦ 川崎市中学校理科優秀作品展

中学校生徒の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の中学生が取り組んだ理科研究作品の中から、優秀であると認められた作品(川崎市中学校理科作品展金賞受賞作品及び日本学生科学賞神奈川県作品展特別賞受賞作品、日本科学賞入選作品など)、7作品を展示した。

開催期間： 令和4年1月18日(火)～2月6日(日) (観覧自由)

担当職員： 杉浦孝弘

(4) 地域振興・生田緑地内

① 川崎市立多摩図書館との連携事業「物語でめぐる星の世界 その6」

多摩図書館との連携により、プラネタリウムにおいて星空投影と合わせた、読み聞かせ事業を行った。

開催日： 令和3年10月2日(土)

参加者： 100名

主催： たまく絵本の会、多摩図書館、科学館

担当職員： 田中里佳

② 多摩区民祭

例年10月に生田緑地で開催される多摩区民祭(主催：多摩区役所)の一行事として、プラネタリウムにおいて「季節の星空」と題する30分間の投影を、かわさきプラネタリウム同好会の協力により実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。

③ 生田緑地スプリングミュージアム

指定管理者の主催により、例年夏に生田緑地及び緑地内各施設を会場に開催。当館でも展示やワークショップ等の特別行事を実施し、連携・協力している。令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、開催時期を例年の夏から春に延期した。

④ 日本民家園との連携事業「七夕体験」「お月見デー」の実施

「七夕体験」

民家園では年中行事として七夕飾りを古民家に展示、当館では子ども向け番組として「七夕ものがたり」を投影。両日のプラネタリウム観覧者全員にオリジナル短冊を配布した(配布数740)。民家園に短冊を持参すると七夕飾りに参加・体験することができ、ミニ笹のプレゼントも行われた。

開催日	内容	参加人数
7月3日(土)、4日(日)	子ども向け投影「七夕ものがたり」	200人

「お月見デー」

民家園では、夜間公開と月観察は中止したが、お月見飾りの展示と、両施設学芸員による屋外での「お月見トーク」を実施した。科学館ではお月見プラネタリウムを実施した。また、民家園と科学館共同で動画「お月見を楽しもう!」を制作し、両施設のホームページ等で公開した。

開催日	内容	参加人数
9月20日(月・祝)	お月見トーク	約50人 ※自由参加
	お月見プラネタリウム	100人

(5) 生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上

① 夏休み生田緑地クイズラリー

生田緑地内の回遊性向上・各施設の利用促進等を目的に、緑地内3館、藤子・F・不二雄ミュージアム、多摩区行政サービスコーナーを会場に指定管理者との連携により、例年夏休み期間中に実施している。

② 生田緑地関係者による連携・協力

生田緑地内の回遊性向上・各施設の利用を促進するため、緑地内3館、生田緑地整備事務所の市職員、指定管理者職員により広報会議、全体会議（毎月）等を定期的に行い、各施設の実施事業の情報共有、「イベントガイド」「もりのにじ」等の3館＋生田緑地の広報紙の刊行、生田緑地ポスターの作成等を行っている。

(6) 博物館連携

川崎市市民ミュージアムの被災資料レスキュー作業への参加

令和元年10月の台風19号により被災した川崎市市民ミュージアムの博物館資料レスキュー作業（4月22日、4月24日、5月20日、5月25日）に計4回、延べ5人で参加した。

7 広報活動

科学館だより、プラネタリウムポスター等広報物の配布拡大、館ホームページ、SNSの活用による情報発信強化に取り組むとともに、報道機関への積極的な情報提供を行いながら新聞、雑誌、テレビ等様々なメディアにおける露出を高め、施設の存在や取組の周知促進を図った。

(1) ホームページアクセス数等

	閲覧等実績
ホームページ	630,502 (アクセス数)
フェイスブック (Facebook)	15,465 (投稿リーチ数) 1,387 (「いいね」数)
ツイッター (Twitter)	4,332 (フォロワー数)

(2) 外部メディアにおける情報提供数

受入日	掲載数等
新聞	12
テレビ・ラジオ	18
市政だより	8
雑誌	11
その他 (web など)	40

8 他施設交流

日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムの半券所持者に対するプラネタリウム観覧料の割引適用等を実施した。この他、緑地内施設に所属する市職員、指定管理者職員による全体会議、広報担当者会議等に参加し、業務に係る情報交換、意見交換等を行った。

第3章 資料

1 刊行物

刊行物名	部数
科学館だより（隔月刊）	合計238,000
川崎市青少年科学館年報第40号 2021年度	90
川崎市青少年科学館紀要第32号	200

※科学館だより（A4両面版）年3回、市立小学校114校全家庭数に配布

2 利用案内

開館時間

午前9時30分～午後5時

休館日

毎週月曜日（祝日の場合は開館）

祝日の翌日（土曜・日曜の場合は開館）

年末年始（12月29日～1月3日）

プラネタリウム一般投影観覧料

個人	一般	400円
	高校生・大学生	200円
団体	一般	320円
	高校生・大学生	160円
中学生以下		無料

ただし「身体障害者手帳」、本市発行の「福寿手帳」を提示した方等は無料

プラネタリウム投影開始時刻（令和3年度実績）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、定員を100人（フュージョンは70人）に削減して投影を実施した。

	1回目	2回目	3回目	4回目
土・日・祝日	10:30	12:00	13:30	15:00
	フュージョン	一般向け	子ども向け	一般向け
春夏冬休み期間中	子ども向け	一般向け	子ども向け	一般向け
火、木、金曜日	学校向け学習投影 (一般観覧不可)			15:00
				一般向け
水曜日、第1木曜日	学校向け学習投影 (一般観覧不可)		13:30	15:00
			フュージョン	一般向け

通常のプラネタリウム定員：200名（フュージョン投影は132名）

川崎市青少年科学館年報
第 40 号 2021 年度（令和 3 年度）

2022 年（令和 4 年）7 月発行

発行 川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）
所在地 〒214-0032 川崎市多摩区柞形 7-1-2
TEL 044-922-4731
FAX 044-934-8659
HP <https://www.nature-kawasaki.jp/>